

■小美玉市人口ビジョン・総合戦略に係るアンケート調査概要

1. 調査の目的

本調査は、令和2年度から新しく策定する「小美玉市人口ビジョン・総合戦略」のため、本市の未来を担う若い世代および市外への転出者を対象として意識調査を実施し、計画策定の基礎資料とすることを目的に実施しました。

2. 調査方法

- ・郵送配布・郵送回答またはWEB回答

3. 調査期間

令和元年6月12日（水）～令和元年6月25日（火）

4. 調査対象

- ・市民アンケート：18歳～39歳の市民
- ・若者アンケート：高校生世代
(平成13年(2001年)4月2日～平成16年(2004年)4月1日生まれの市民)
- ・転出者アンケート：本市から市外に転出した方

5. 配布回収状況

	配布	有効回収数 (回収数)	有効回収率 (回収率)	未達を含む回収率
市民 アンケート	無作為抽出2,000票 (未達10票)	309票 (323票)	15.5% (16.2%)	15.5% (16.2%)
若者 アンケート	無作為抽出500票 (未達0票)	103票 (112票)	20.6% (22.4%)	20.6% (22.4%)
転出者 アンケート	無作為抽出500票 (未達28票)	84票 (90票)	16.8% (18.0%)	17.8% (19.1%)

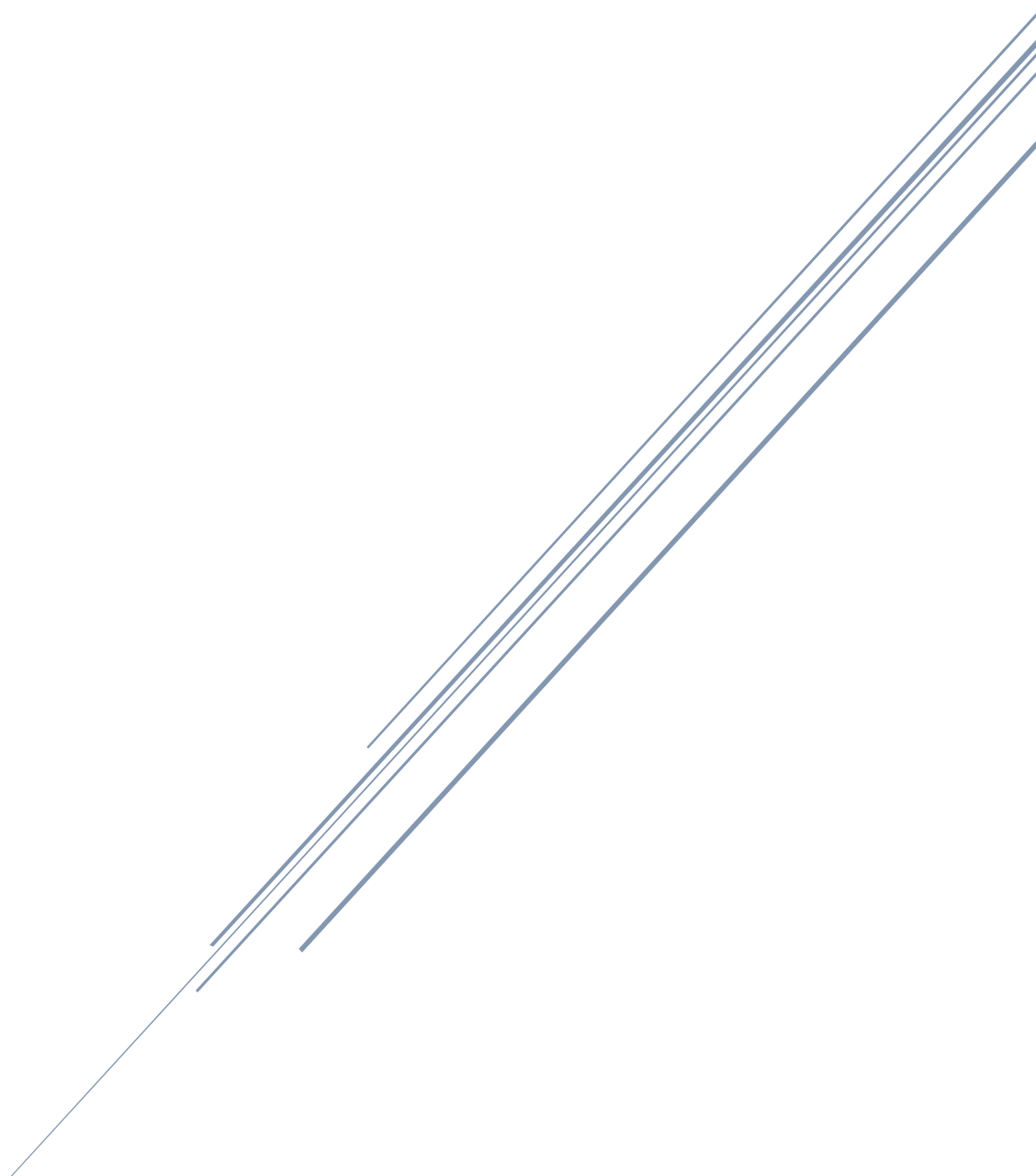
6. アンケート調査集計にあたっての注意事項

- ・比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。
- ・小数点以下第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が100%にならない場合があります。
- ・2つ以上の回答を求める質問の場合、百分率の合計は、通常100%を超えた集計をしています。
- ・グラフや表中の回答選択肢は、短縮して表記している場合があります。

7. アンケート調査結果の概要

選択肢	2015年調査 (平成27年)	2019年調査 (令和元年)	概要
市民アンケート調査			
問20 あなたは結婚を希望しますか。(p.15)			
結婚希望する	80.7%	85.1%	市民の結婚願望は希望するが4.4ポイント上がり、希望しないが1.2ポイント下がっている。
結婚を希望しない	14.1%	12.9%	
問20 あなたが結婚を希望する年齢を教えてください。(p.15)			
21-25歳	31.0%	39.5%	市民の結婚を希望する年齢は21-25歳が8.5ポイント上がり、26-30歳が9.5ポイント、31-35歳が3.4ポイント下がっている。25歳が25.9ポイントで最も多くを占めている。
26-30歳	46.4%	36.9%	
31-35歳	7.6%	4.2%	
問25③ あなたの理想のお子さんの人数を教えてください。(p.19)			
理想の子ども人数(平均)	2.311人	2.314人	理想の子ども的人数は若干増加している。
問33 あなたは小美玉市に愛着を持っていますか。(p.24)			
愛着を持っている	48.1%	56.0%	市民の小美玉市への愛着が7.9ポイント上がっている。
若者アンケート調査			
問7 将来の住まいの希望についてお答えください。(p.88)			
市内に住みたい <small>「市内に住んで市内で働きたい」「市内に住んで、市外で働きたい」「市外へ進学後、市内に戻って働きたい」「市外へ進学後、市内に戻って、市外で働きたい」を合算</small>	44.8%	46.7%	若者の定住及びUターンによる移住に対する意向は1.9ポイント上がっている。
問8 あなたは結婚したいと思いますか。(p.89)			
結婚したいと思う	65.4%	69.9%	若者の結婚願望は、結婚したいが4.5ポイント上がり、結婚したいと思わないが8.6ポイント下がっている。
結婚したいと思わない	13.5%	4.9%	
問9 結婚を希望する年齢を教えてください。(p.89)			
21-25歳	50.0%	55.6%	若者の結婚を希望する年齢は、21-25歳が5.6ポイント上がり、26-30歳が2.6ポイント下がっている。25歳が33.3ポイントで最も多くを占めている。
26-30歳	37.3%	34.7%	
問14 あなたは小美玉市に愛着を持っていますか。(p.92)			
愛着を持っている	51.9%	45.6%	若者の小美玉市へ愛着を持っている割合は、6.3ポイント下がっている。
転出者アンケート調査			
問9 小美玉市は住みやすかったですか。(p.116)			
住みやすかった	58.0%	69.0%	転出者の小美玉市の住みやすさの評価は、11ポイント上がっている。

市民アンケート調査結果



▶ 市民アンケート調査項目

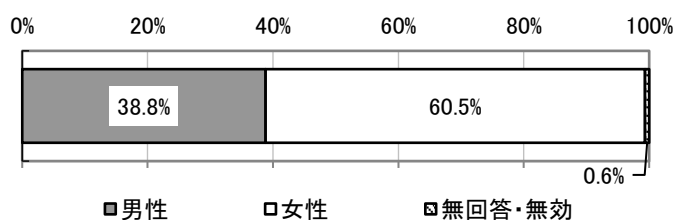
1 あなた自身のことについて
問1 あなたの性別をお答えください。
問2 あなたの年齢(令和元年5月1日時点の年齢)をお答えください。
問3 世帯構成についてお答えください。
問4 ご結婚はされていますか。
問5 お住まいの地域(学区)はどちらですか。
問6 小美玉市にずっと住んでいますか。また、転入してきた方は何年くらいお住まいですか。
問7 どちらから小美玉市に転入してきましたか。
問8 小美玉市に転入してきた理由は何ですか。
問9 小美玉市に転入される前のお住まいの状況を教えてください。
問10 現在のお住まいの状況を教えてください。
2 職業・雇用について
問11 現在の職業と希望の職業を教えてください。
問12 問11(現在の職業)で15～17と回答した方にうかがいます。地元の企業での就職を希望しますか。
問13 職業を選ぶ際に重視した(したい)ポイントはどのようなことですか。
問14 仕事についてどのように考えていますか。
3 小美玉市での定住意識について
問15 お住まいになる場所を選ぶ際に重視した(したい)ことは何ですか。
問16 今後も今のお住まいに継続して住む予定ですか。
問17 問16で3～5に○をつけた方にうかがいます。その理由は何ですか。
問18 都16で3～5に○をつけた方にうかがいます。希望する転居先はどちらですか。
4 結婚・子育てについて
問19 既婚の方、または離婚していた方(問4で1または3と回答した方)にうかがいます。結婚(初婚)した年齢を教えてください。
問20 結婚を希望する(希望していた)年齢を教えてください。
問21 現在結婚をしていない方(問4で2または3と回答した方)にうかがいます。結婚していない理由を教えてください。
問22 結婚に対して期待できそうな(期待していた)ことは何ですか。
問23 結婚に対して不安になりそうな(不安に思っていた)ことは何ですか。
問24 結婚を考える際に障害になりそうな(障害になった)ことは何ですか。
問25 予定している(予定していた)お子さんの人数、現在のお子さんの人数、理想のお子さんの人数はそれぞれ何人ですか。
問26 予定している(していた)お子さんの人数を実現できそうですか。
問27 小美玉市で子育てをしていきたいと思いませんか。
問28 問27で1または2に○をつけた方にうかがいます。小美玉市で子育てをしたいと思う理由は何ですか。
問29 問27で3に○をつけた方にうかがいます。小美玉市で子育てをしたいと思わない理由は何ですか。
問30 お子さんがいらっしゃる方にうかがいます。小美玉市の子育て支援についてどのように思いませんか。
5 小美玉市のまちづくりについて
問31 小美玉市の人口を増やしていくためには何が必要だとお考えですか。
問32 お住まいの地域(学区)が今よりもっと住みよい地域となるためには何が必要とお考えですか。
問33 小美玉市に愛着を持っていますか。
問34 小美玉市を知人に推奨する(おすすめする)気持ちはどのくらいありますか。
問35 小美玉市をよりよくしようとする活動に参加したい気持ち、あるいは応援する気持ちはどのくらいありますか。
問36 小美玉市をよりよくしようと活動している人に感謝する気持ちはどのくらいありますか。
問37 小美玉市では「小美玉市まち・ひと・しごと創生総合戦略ダイヤモンドシティ・プロジェクト」として、以下の施策に取り組んでまいりました。各施策の「必要性」についてお答えください。
問38 小美玉市のどのようなところを改善していくべきだと思いますか。(参考資料にて掲載)
問39 小美玉市が自慢できるもの、大切にしていきたいものは何ですか。(参考資料にて掲載)

1. あなた自身のことについて

問1 あなたの性別をお答えください。

女性の割合が高く6割を超える。

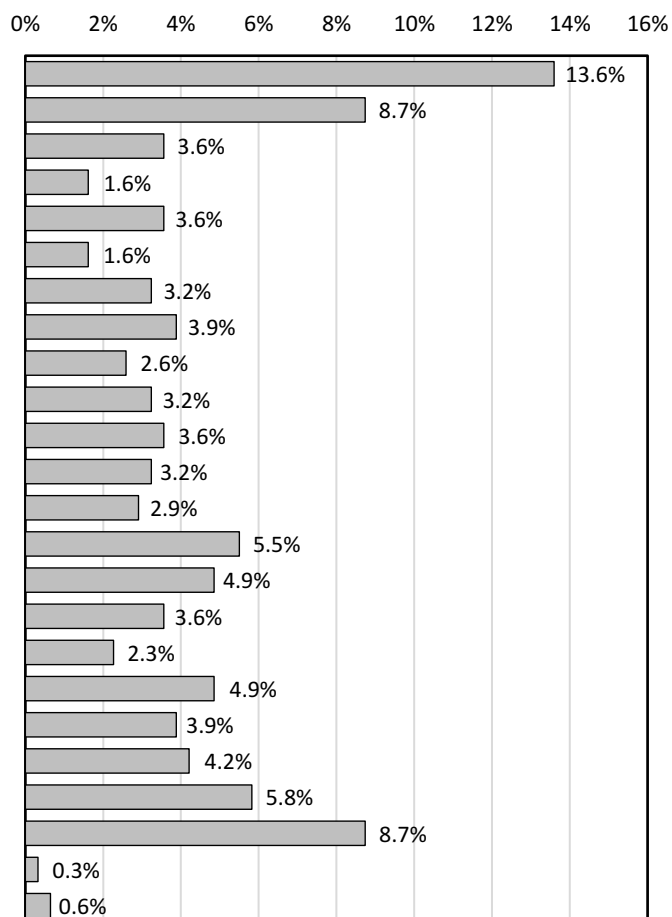
		2019年調査 (令和元年)	
		票数	%
1	男性	120	38.8%
2	女性	187	60.5%
	無回答・無効	2	0.6%
	合計	309	100%



問2 あなたの年齢(令和元年5月1日時点の年齢)をお答えください。

18歳が最も多く、19歳と39歳がそれに次いでいる。

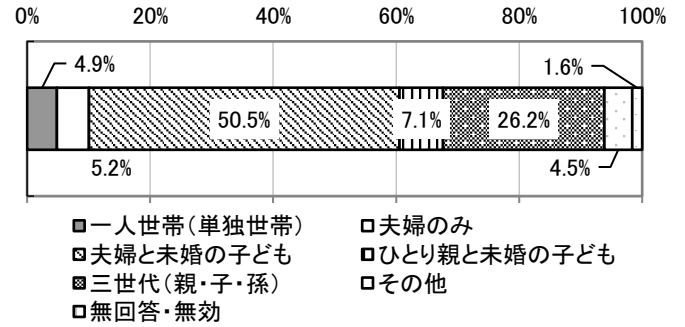
		2019年調査 (令和元年)	
		票数	%
18歳		42	13.6%
19歳		27	8.7%
20歳		11	3.6%
21歳		5	1.6%
22歳		11	3.6%
23歳		5	1.6%
24歳		10	3.2%
25歳		12	3.9%
26歳		8	2.6%
27歳		10	3.2%
28歳		11	3.6%
29歳		10	3.2%
30歳		9	2.9%
31歳		17	5.5%
32歳		15	4.9%
33歳		11	3.6%
34歳		7	2.3%
35歳		15	4.9%
36歳		12	3.9%
37歳		13	4.2%
38歳		18	5.8%
39歳		27	8.7%
40歳		1	0.3%
無回答・無効		2	0.6%
合計		309	100%



問3 世帯構成についてお答えください。

夫婦と未婚の子どもが約5割を占める。

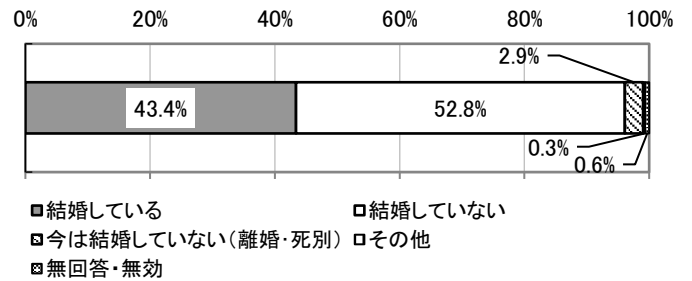
		2019年調査 (令和元年)	
		票数	%
1	一人世帯(単独世帯)	15	4.9%
2	夫婦のみ	16	5.2%
3	夫婦と未婚の子ども	156	50.5%
4	ひとり親と未婚の子ども	22	7.1%
5	三世代(親・子・孫)	81	26.2%
6	その他	14	4.5%
	無回答・無効	5	1.6%
	合計	309	100%



問4 ご結婚はされていますか。

結婚している人が約4割を占め、結婚していない人が約5割を占める。

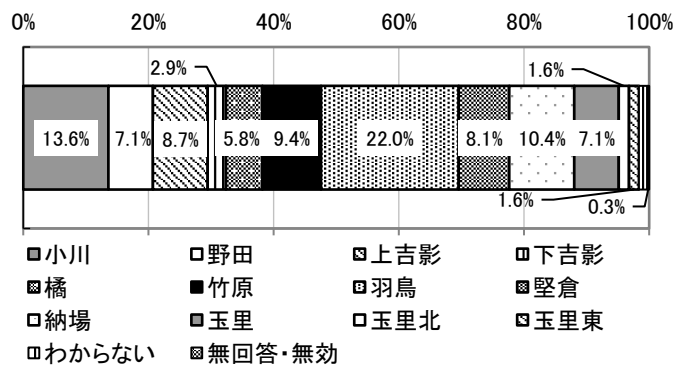
		2019年調査 (令和元年)	
		票数	%
1	結婚している	134	43.4%
2	結婚していない	163	52.8%
3	今は結婚していない(離婚・死別)	9	2.9%
4	その他	1	0.3%
	無回答・無効	2	0.6%
	合計	309	100%



問5 お住まいの地域(学区)はどちらですか。

回答者のお住まいは美野里地区が約5割を占める。

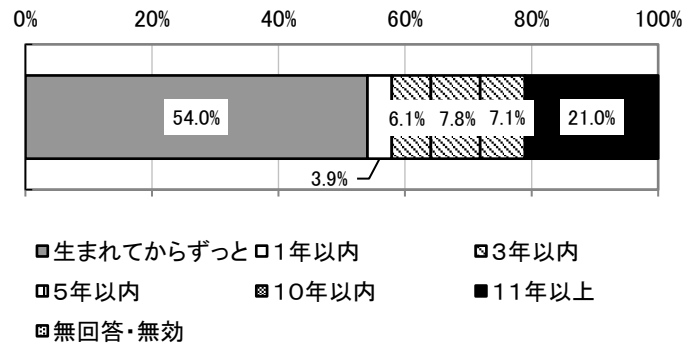
		2019年調査 (令和元年)	
		票数	%
1	小川	42	13.6%
2	野田	22	7.1%
3	上吉影	27	8.7%
4	下吉影	9	2.9%
5	橘	18	5.8%
6	竹原	29	9.4%
7	羽鳥	68	22.0%
8	堅倉	25	8.1%
9	納場	32	10.4%
10	玉里	22	7.1%
11	玉里北	5	1.6%
12	玉里東	5	1.6%
13	わからない	4	1.3%
	無回答・無効	1	0.3%
	合計	309	100%



問6 小美玉市にずっと住んでいますか。また、転入してきた方は何年くらいお住まいですか。

生まれてからずっと小美玉市に住んでいる人が5割を超えている。

		票数	%
1	生まれてからずっと	167	54.0%
2	1年以内	12	3.9%
3	3年以内	19	6.1%
4	5年以内	24	7.8%
5	10年以内	22	7.1%
6	11年以上	65	21.0%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	309	100%



問7 どちらから小美玉市に転入してきましたか。

小美玉市に転入する前の居住地は、茨城県内の市町村が6割を超え最も多い。中でも、石岡市は全体の約2割を占めているが2015年調査と比べて割合が下がっている。

都道府県別転出数	2015年調査 (平成27年)		2019年調査 (令和元年)	
	票数	%	票数	%
茨城県	122	65.2%	92	64.8%
千葉県	8	4.3%	6	4.2%
埼玉県	11	5.9%	6	4.2%
東京都	9	4.8%	5	3.5%
栃木県	0	0.0%	5	3.5%
神奈川県	0	0.0%	3	2.1%
静岡県	0	0.0%	2	1.4%
愛知県	0	0.0%	2	1.4%
福岡県	0	0.0%	2	1.4%
沖縄県	0	0.0%	2	1.4%
その他の都道府県	0	0.0%	3	2.1%
無回答・無効	37	19.8%	14	9.9%
合計	187	100%	142	100%

注)2件以上の都道府県を表記

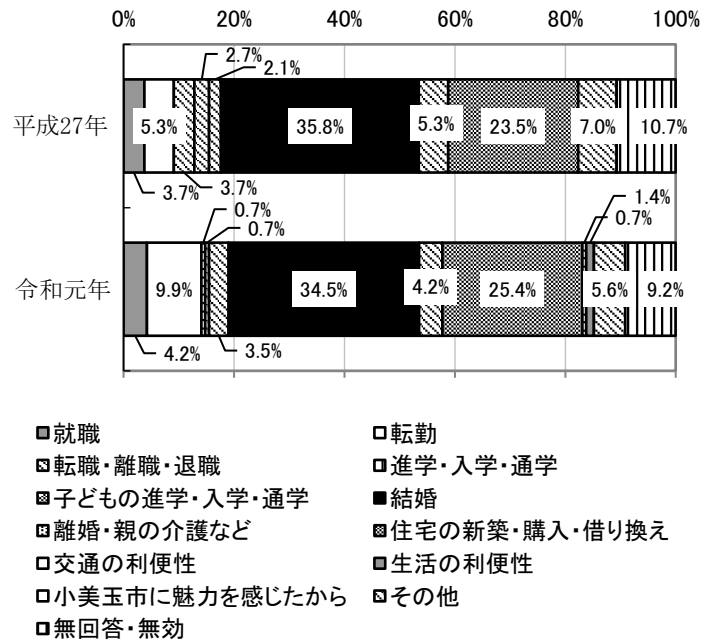
県内市町村転出数	2015年調査 (平成27年)		2019年調査 (令和元年)	
	票数	%	票数	%
石岡市	34	27.9%	22	15.5%
水戸市	18	14.8%	12	8.5%
かすみがうら市	4	3.3%	11	7.7%
行方市	7	1.0%	8	5.6%
鉾田市	4	3.3%	7	4.9%
土浦市	9	7.4%	5	3.5%
笠間市	5	4.1%	5	3.5%
川口市	0	0.0%	3	2.1%
その他の市区町村	0	0.0%	55	38.7%
無回答・無効	0	0.0%	14	9.9%

注)3件以上の市区町村を表記

問8 小美玉市に転入してきた理由は何ですか。

結婚が3割を超え、住宅の新築・購入・借り換えが約2割5分で次いで多くを占める。2015年調査と比べて転勤が最も増加し、転職・離職・退職が最も大きく減少している。

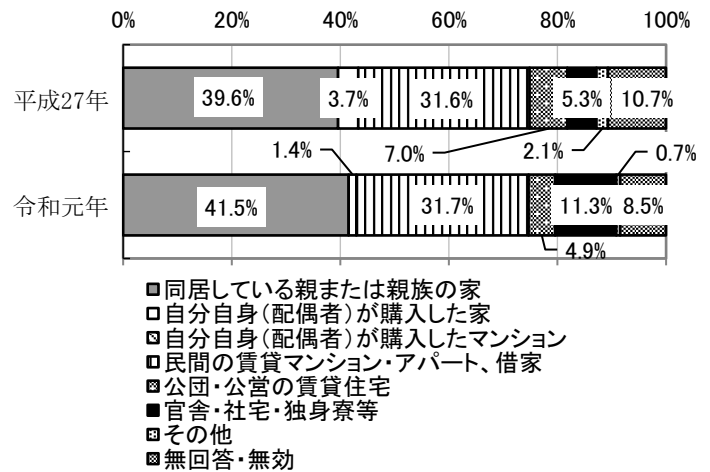
	2015年調査 (平成27年)		2019年調査 (令和元年)	
	票数	%	票数	%
1 就職	7	3.7%	6	4.2%
2 転勤	10	5.3%	14	9.9%
3 転職・離職・退職	7	3.7%	1	0.7%
4 進学・入学・通学	5	2.7%	1	0.7%
5 子どもの進学・入学・通学	4	2.1%	5	3.5%
6 結婚	67	35.8%	49	34.5%
7 離婚・親の介護など	10	5.3%	6	4.2%
8 住宅の新築・購入・借り換え	44	23.5%	36	25.4%
9 交通の利便性	0	0.0%	1	0.7%
10 生活の利便性	0	0.0%	2	1.4%
11 小美玉市に魅力を感じたから	0	0.0%	0	0.0%
12 その他	13	7.0%	8	5.6%
無回答・無効	20	10.7%	13	9.2%
合計	187	100%	142	100%



問9 小美玉市に転入される前のお住まいの状況を教えてください。

同居している親または親族の家が最も多く4割を超えている。2015年調査と比べて同居している親または親族の家と官舎・社宅・独身寮が最も増加している。

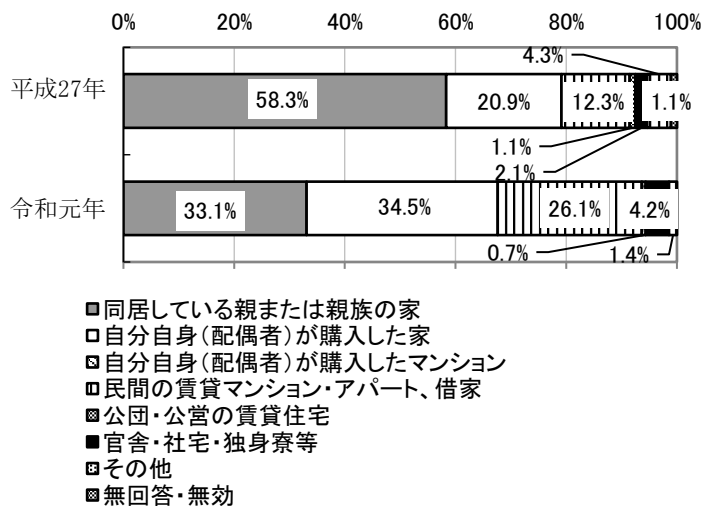
	2015年調査 (平成27年)		2019年調査 (令和元年)	
	票数	%	票数	%
1 同居している親または親族の家	74	39.6%	59	41.5%
2 自分自身(配偶者)が購入した家	7	3.7%	2	1.4%
3 自分自身(配偶者)が購入したマンション	0	0.0%	0	0.0%
4 民間の賃貸マンション・アパート、借家	59	31.6%	45	31.7%
5 公団・公営の賃貸住宅	13	7.0%	7	4.9%
6 官舎・社宅・独身寮等	10	5.3%	16	11.3%
7 その他	4	2.1%	1	0.7%
無回答・無効	20	10.7%	12	8.5%
合計	187	100%	142	100%



問10 現在のお住まいの状況を教えてください。

自分自身(配偶者)が購入した家が最も多く3割を超え、同居している親または親族の家が3割3分でそれに次いでいる。2015年調査と比べて民間の賃貸マンション・アパート、借家が最も増加し、同居している親または親族の家が最も減少している。

	2015年調査 (平成27年)		2019年調査 (令和元年)	
	票数	%	票数	%
1 同居している親または親族の家	109	58.3%	47	33.1%
2 自分自身(配偶者)が購入した家	39	20.9%	49	34.5%
3 自分自身(配偶者)が購入したマンション	0	0.0%	0	0.0%
4 民間の賃貸マンション・アパート、借家	23	12.3%	37	26.1%
5 公団・公営の賃貸住宅	2	1.1%	1	0.7%
6 官舎・社宅・独身寮等	4	2.1%	6	4.2%
7 その他	8	4.3%	2	1.4%
無回答・無効	2	1.1%	0	0.0%
合計	187	100%	142	100%



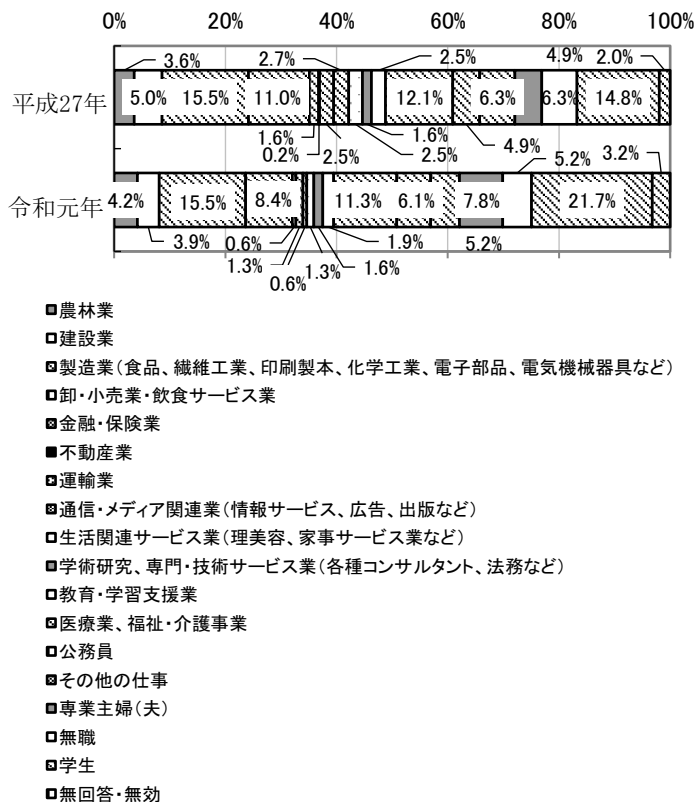
2. 職業・雇用について

問11 現在の職業と希望の職業を教えてください。

①現在の職業

学生が約2割で最も多くを占め、約1割6分で製造業がそれに次いでいる。2015年調査と比べて学生が最も増加し、卸・小売業・飲食サービス業が最も減少している。

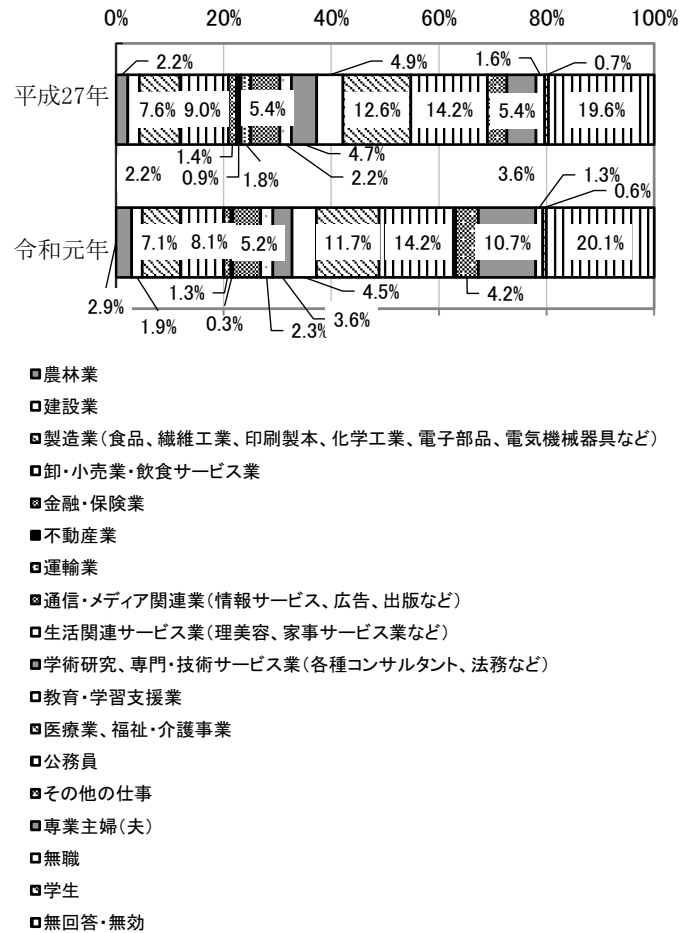
	2015年調査 (平成27年)		2019年調査 (令和元年)	
	票数	%	票数	%
1 農林業	20	3.6%	13	4.2%
2 建設業	28	5.0%	12	3.9%
3 製造業(食品、繊維工業、印刷製本、化学工業、電子部品、電気機械器具など)	86	15.5%	48	15.5%
4 卸・小売業・飲食サービス業	61	11.0%	26	8.4%
5 金融・保険業	9	1.6%	2	0.6%
6 不動産業	1	0.2%	0	0.0%
7 運輸業	14	2.5%	4	1.3%
8 通信・メディア関連業(情報サービス、広告、出版など)	15	2.7%	2	0.6%
9 生活関連サービス業(理美容、家事サービス業など)	14	2.5%	4	1.3%
10 学術研究、専門・技術サービス業(各種コンサルタント、法務など)	9	1.6%	5	1.6%
11 教育・学習支援業	14	2.5%	6	1.9%
12 医療業、福祉・介護事業	67	12.1%	35	11.3%
13 公務員	27	4.9%	19	6.1%
14 その他の仕事	35	6.3%	16	5.2%
15 専業主婦(夫)	27	4.9%	24	7.8%
16 無職	35	6.3%	16	5.2%
17 学生	82	14.8%	67	21.7%
無回答・無効	11	2.0%	10	3.2%
合計	555	100%	309	100%



②希望の職業

公務員が1割4分で最も多く、医療業、福祉・介護事業が1割2分でそれに次いでいる。2015年調査と比べて専業主婦(夫)が最も増加し、運輸業が最も減少している。

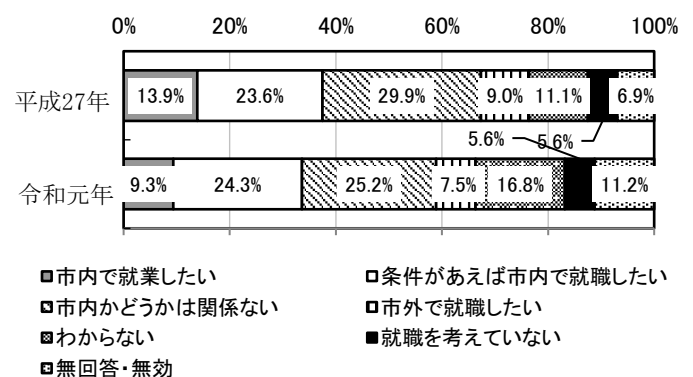
	2015年調査 (平成27年)		2019年調査 (令和元年)	
	票数	%	票数	%
1 農林業	12	2.2%	9	2.9%
2 建設業	12	2.2%	6	1.9%
3 製造業(食品、繊維工業、印刷製本、化学工業、電子部品、電気機械器具など)	42	7.6%	22	7.1%
4 卸・小売業・飲食サービス業	50	9.0%	25	8.1%
5 金融・保険業	8	1.4%	4	1.3%
6 不動産業	5	0.9%	0	0.0%
7 運輸業	10	1.8%	1	0.3%
8 通信・メディア関連業(情報サービス、広告、出版など)	30	5.4%	16	5.2%
9 生活関連サービス業(理美容、家事サービス業など)	12	2.2%	7	2.3%
10 学術研究、専門・技術サービス業(各種コンサルタント、法務など)	26	4.7%	11	3.6%
11 教育・学習支援業	27	4.9%	14	4.5%
12 医療業、福祉・介護事業	70	12.6%	36	11.7%
13 公務員	79	14.2%	44	14.2%
14 その他の仕事	20	3.6%	13	4.2%
15 専業主婦(夫)	30	5.4%	33	10.7%
16 無職	9	1.6%	4	1.3%
17 学生	4	0.7%	2	0.6%
無回答・無効	109	19.6%	62	20.1%
合計	555	100%	309	100%



問12 問11(現在の職業)で15~17と回答した方にうかがいます。地元の企業での就業を希望しますか。

市内かどうかは関係ないが最も多くを占め、条件があれば市内で就職したいが次いで多くを占めている。2015年調査と比べて、わからないが最も増加し、条件があれば市内で就職したいが次いでいる。そして、2015年調査と比べて、市内かどうかは関係ないが最も減少している。

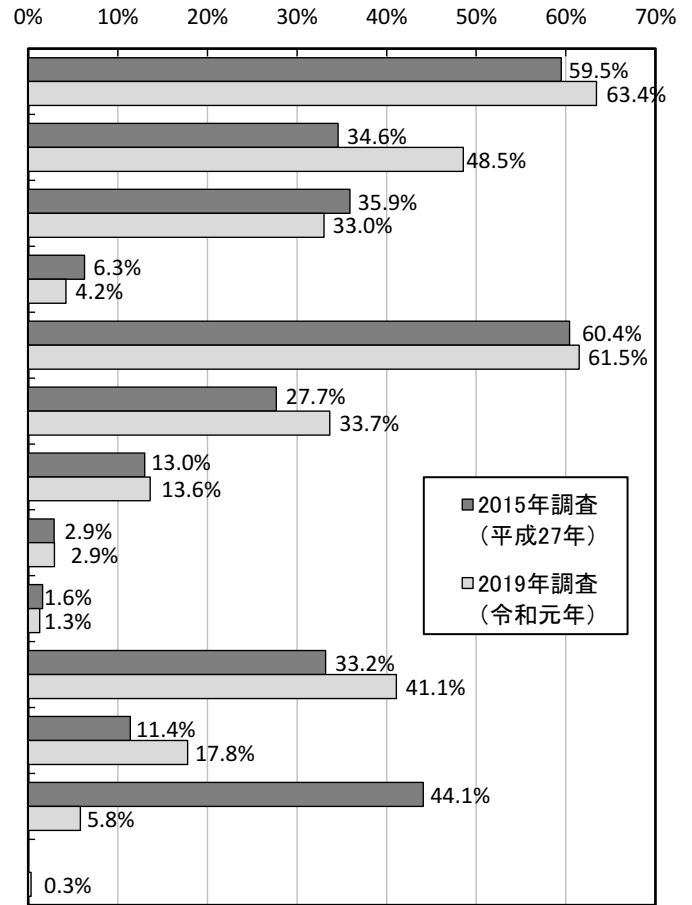
	2015年調査 (平成27年)		2019年調査 (令和元年)	
	票数	%	票数	%
1 市内で就業したい	20	13.9%	10	9.3%
2 条件があれば市内で就職したい	34	23.6%	26	24.3%
3 市内かどうかは関係ない	43	29.9%	27	25.2%
4 市外で就職したい	13	9.0%	8	7.5%
5 わからない	16	11.1%	18	16.8%
6 就職を考えていない	8	5.6%	6	5.6%
無回答・無効	10	6.9%	12	11.2%
合計	144	100%	107	100%



問13 職業を選ぶ際に重視した(したい)ポイントはどのようなことですか。

満足できる収入が得られることが最も多くを占め、収入・雇用が安定していることがそれに次いでいる。2015年調査と比べて休みが多いことが最も増加し、自分の専門を生かせることが最も減少している。

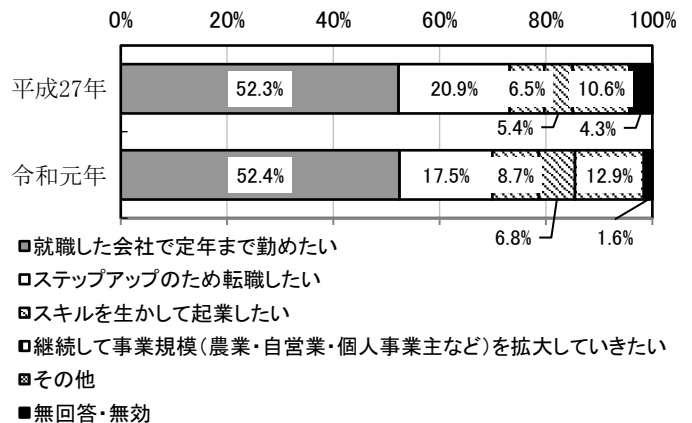
	2015年調査 (平成27年)		2019年調査 (令和元年)	
	票数	%	票数	%
1 満足できる収入が得られること	330	59.5%	196	63.4%
2 休みが多い、残業が少ないこと	192	34.6%	150	48.5%
3 自分の専門を生かせること	199	35.9%	102	33.0%
4 地元へ根付いた企業であること	35	6.3%	13	4.2%
5 収入・雇用が安定していること	335	60.4%	190	61.5%
6 人の役に立つ仕事ができること	154	27.7%	104	33.7%
7 自分の趣味を生かせること	72	13.0%	42	13.6%
8 家業の継承	16	2.9%	9	2.9%
9 親からのすすめ	9	1.6%	4	1.3%
10 福利厚生(住居・保険など)が充実していること	184	33.2%	127	41.1%
11 ワークシェアリングなど、自分のライフスタイルに合わせて働き方を選択できること	63	11.4%	55	17.8%
12 その他	23	4.4%	18	5.8%
無回答・無効	-	-	1	0.3%



問14 仕事についてどのように考えていますか。

就職した会社で定年まで勤めたいが5割を超えている。

	2015年調査 (平成27年)		2019年調査 (令和元年)	
	票数	%	票数	%
1 就職した会社で定年まで勤めたい	290	52.3%	162	52.4%
2 ステップアップのため転職したい	116	20.9%	54	17.5%
3 スキルを生かして起業したい	36	6.5%	27	8.7%
4 継続して事業規模(農業・自営業・個人事業主など)を拡大していきたい	30	5.4%	21	6.8%
5 その他	59	10.6%	40	12.9%
無回答・無効	24	4.3%	5	1.6%
合計	555	100%	309	100%



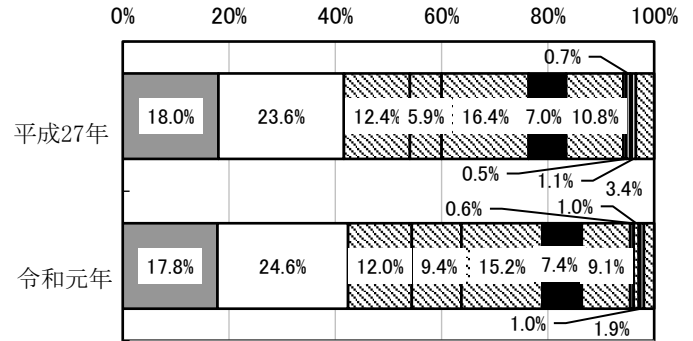
3. 小美玉市での定住意識について

問15 お住まいになる場所を選ぶ際に重視した(したい)ことは何ですか。

お住まいを選ぶ際に1番目に重視した(したい)ことは、通勤・通学などの便利さが最も多くを占め、実家や親戚が近いことがそれに次いだ。2015年調査と比べて1番目に重視したことは大きな変化がみられない。

1番重視した(したい)こと

	2015年調査 (平成27年)		2019年調査 (令和元年)	
	票数	%	票数	%
1 実家や親戚が近い	100	18.0%	55	17.8%
2 通勤・通学などの便利さ	131	23.6%	76	24.6%
3 住み慣れた場所(結婚した夫(妻)が以前から住んでいたなど)	69	12.4%	37	12.0%
4 希望に合う物件	33	5.9%	29	9.4%
5 居住環境	91	16.4%	47	15.2%
6 教育・子育て環境	39	7.0%	23	7.4%
7 買い物など日常生活の便利さ	60	10.8%	28	9.1%
8 歴史や文化、土地柄	3	0.5%	2	0.6%
9 病院などへの通院の便利さ	4	0.7%	0	0.0%
10 公共施設へのアクセスの便利さ	-	-	3	1.0%
11 その他	6	1.1%	3	1.0%
無回答・無効	19	3.4%	6	1.9%
合計	555	100%	309	100%



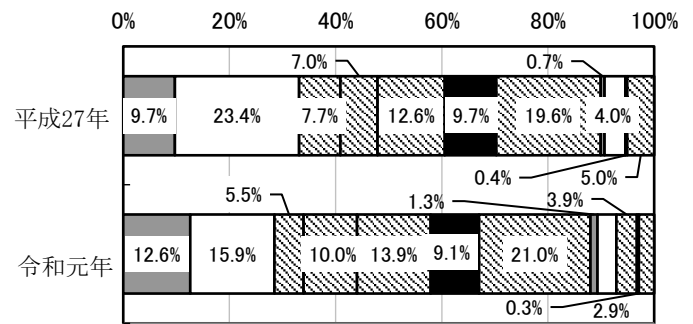
- 実家や親戚が近い
- 通勤・通学などの便利さ
- ▨ 住み慣れた場所(結婚した夫(妻)が以前から住んでいたなど)
- ▩ 希望に合う物件
- 居住環境
- 教育・子育て環境
- ▨ 買い物など日常生活の便利さ
- 歴史や文化、土地柄
- 病院などへの通院の便利さ
- ▨ 公共施設へのアクセスの便利さ
- ▩ その他
- 無回答・無効

※選択肢10は2019年調査により新たに追加

お住まいを選ぶ際に2番目に重視した(したい)ことは、買い物など日常生活の便利さが最も多くを占め、通勤・通学の便利さがそれに次いでいる。2015年調査と比べて2番目に重視したことは、実家や親戚が近いことが最も増加し、通勤・通学などの便利さが最も減少している。

2番目に重視した(したい)こと

	2015年調査 (平成27年)		2019年調査 (令和元年)	
	票数	%	票数	%
1 実家や親戚が近い	54	9.7%	39	12.6%
2 通勤・通学などの便利さ	130	23.4%	49	15.9%
3 住み慣れた場所(結婚した夫(妻)が以前から住んでいたなど)	43	7.7%	17	5.5%
4 希望に合う物件	39	7.0%	31	10.0%
5 居住環境	70	12.6%	43	13.9%
6 教育・子育て環境	54	9.7%	28	9.1%
7 買い物など日常生活の便利さ	109	19.6%	65	21.0%
8 歴史や文化、土地柄	4	0.7%	4	1.3%
9 病院などへの通院の便利さ	22	4.0%	11	3.6%
10 公共施設へのアクセスの便利さ	-	-	12	3.9%
11 その他	2	0.4%	1	0.3%
無回答・無効	28	5.0%	9	2.9%
合計	555	100%	309	100%



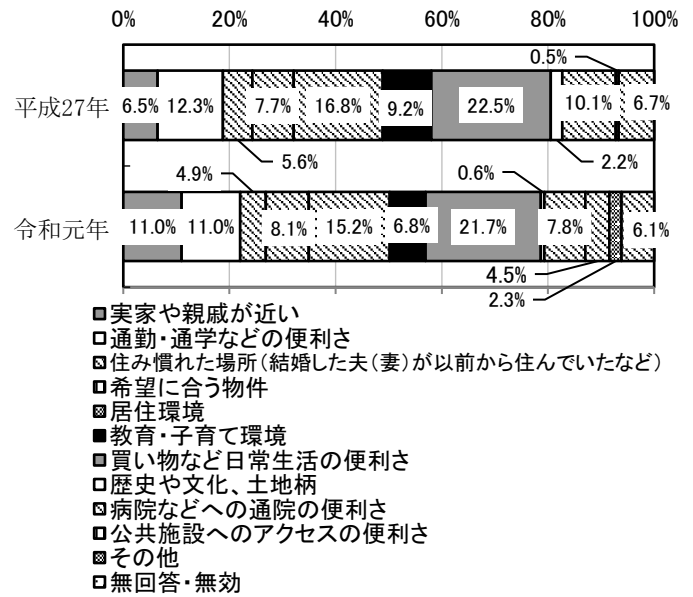
- 実家や親戚が近い
- 通勤・通学などの便利さ
- ▨ 住み慣れた場所(結婚した夫(妻)が以前から住んでいたなど)
- ▩ 希望に合う物件
- 居住環境
- 教育・子育て環境
- ▨ 買い物など日常生活の便利さ
- 歴史や文化、土地柄
- 病院などへの通院の便利さ
- ▨ 公共施設へのアクセスの便利さ
- ▩ その他
- 無回答・無効

※選択肢10は2019年調査により新たに追加

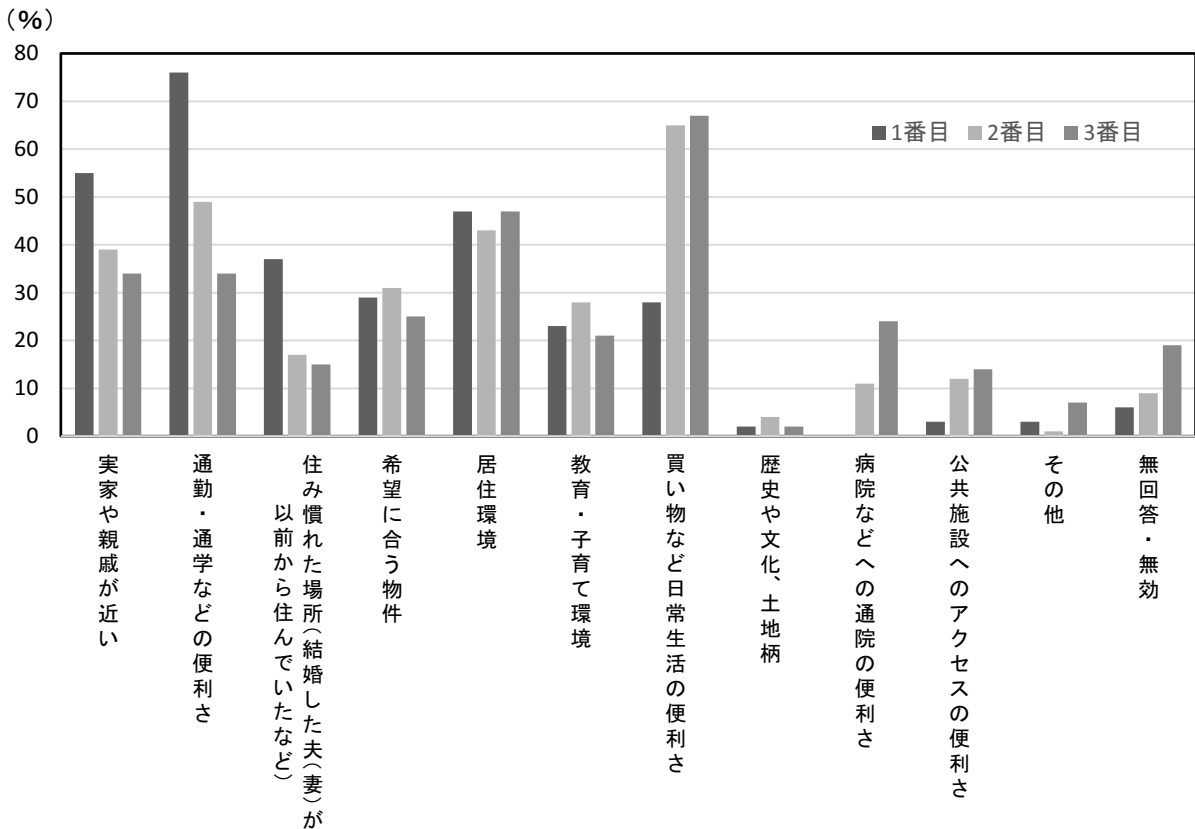
お住まいを選ぶ際に3番目に重視した(したい)ことは、買い物など日常生活の便利さが最も多くを占め、居住環境がそれに次いでいる。2015年調査と比べて3番目に重視したことは、実家や親戚が近いことが最も増加し、病院などへの通院の便利さが最も減少している。

3番目に重視した(したい)こと

	2015年調査 (平成27年)		2019年調査 (令和元年)	
	票数	%	票数	%
1 実家や親戚が近い	36	6.5%	34	11.0%
2 通勤・通学などの便利さ	68	12.3%	34	11.0%
3 住み慣れた場所(結婚した夫(妻)が以前から住んでいたなど)	31	5.6%	15	4.9%
4 希望に合う物件	43	7.7%	25	8.1%
5 居住環境	93	16.8%	47	15.2%
6 教育・子育て環境	51	9.2%	21	6.8%
7 買い物など日常生活の便利さ	125	22.5%	67	21.7%
8 歴史や文化、土地柄	12	2.2%	2	0.6%
9 病院などへの通院の便利さ	56	10.1%	24	7.8%
10 公共施設へのアクセスの便利さ	-	-	14	4.5%
11 その他	3	0.5%	7	2.3%
無回答・無効	37	6.7%	19	6.1%
合計	555	100%	309	100%



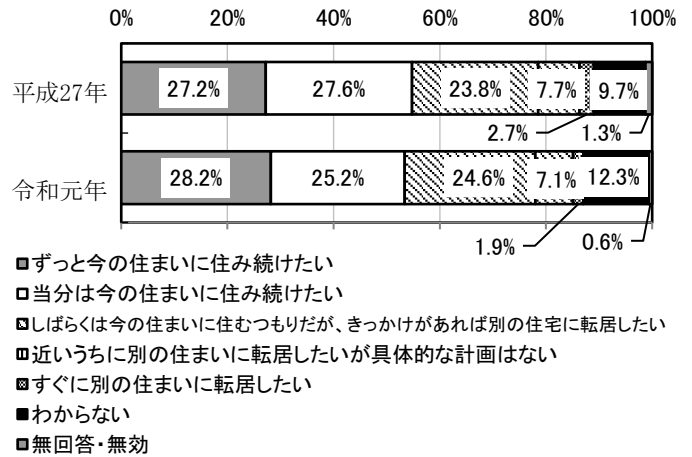
※選択肢10は2019年調査により新たに追加



問16 今後も今のお住まいに継続して住む予定ですか。

ずっと今の住まいに住み続けたいが最も多くを占めている。2015年調査と比べてわからないが最も増加し、当分は今の住まいに住み続けたいが最も減少している。

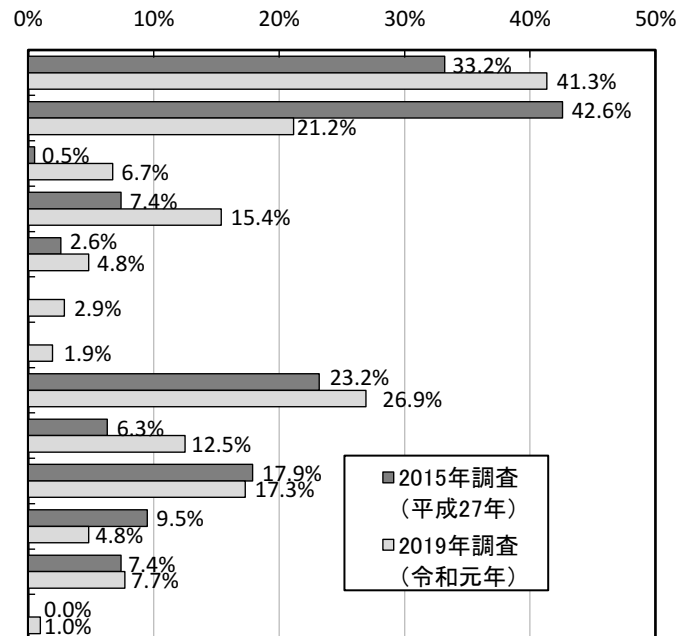
	2015年調査 (平成27年)		2019年調査 (令和元年)	
	票数	%	票数	%
1 ずっと今の住まいに住み続けたい	151	27.2%	87	28.2%
2 当分は今の住まいに住み続けたい	153	27.6%	78	25.2%
3 しばらくは今の住まいに住むつもりだが、きっかけがあれば別の住宅に転居したい	132	23.8%	76	24.6%
4 近いうちに別の住まいに転居したいが具体的な計画はない	43	7.7%	22	7.1%
5 すぐに別の住まいに転居したい	15	2.7%	6	1.9%
6 わからない	54	9.7%	38	12.3%
無回答・無効	7	1.3%	2	0.6%
合計	555	100%	309	100%



問17 問16で3～5に○をつけた方にうかがいます。その理由は何ですか。

就職や離職等の仕事の影響が最も多くを占めている。2015年調査と比べて子どもの教育のための増加し、結婚、離婚などのための減少している。

	2015年調査 (平成27年)		2019年調査 (令和元年)	
	票数	%	票数	%
1 就職、離職(退職、失業を含む)、転勤など仕事の関係のため	63	33.2%	43	41.3%
2 結婚、離婚などのため	81	42.6%	22	21.2%
3 進学(大学、専門学校など)	1	0.5%	7	6.7%
4 子どもの教育(子どもの進学(小・中・高校等)、教育環境のためなど)	14	7.4%	16	15.4%
5 医療(病院に通いやすいなど)			5	4.8%
6 福祉(福祉サービスが充実しているなど)	5	2.6%	3	2.9%
7 介護(介護サービスが充実しているなど)			2	1.9%
8 住宅事情(住環境が悪い、住宅を購入したい、親との同居ができないなど)	44	23.2%	28	26.9%
9 同居(親との同居、子どもとの同居など)	12	6.3%	13	12.5%
10 日常生活が不便(移動や買い物が不便など)	34	17.9%	18	17.3%
11 地域になじめない、コミュニティが煩わしい	18	9.5%	5	4.8%
12 その他	14	7.4%	8	7.7%
無回答・無効	286	-	1	1.0%

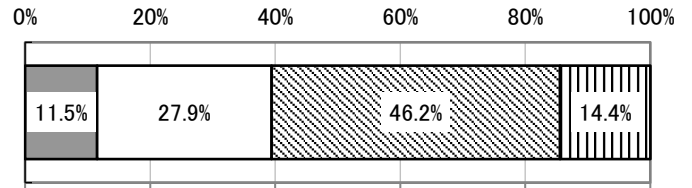


※2019年調査では、2015年調査の「医療や福祉、介護が安心して受けられるという」の選択肢を「病院に通いやすい」「福祉サービスが充実している」「介護サービスが充実している」の3つの選択肢に分けて調査を実施している。グラフ表記では、2015年調査の際の「医療や福祉、介護が安心して受けられるという」は、選択肢6の病院に通いやすいの位置に記している。

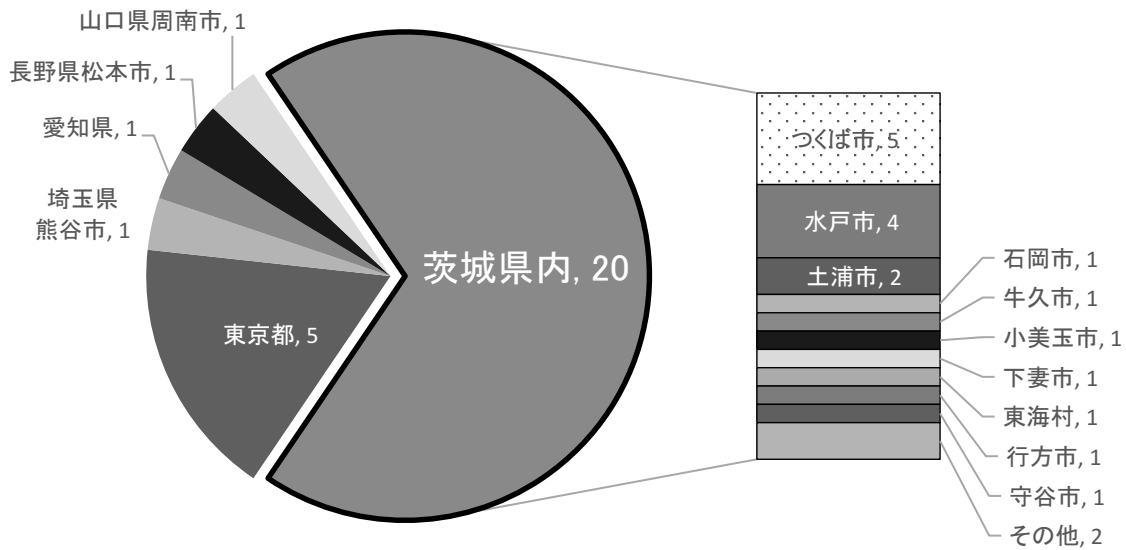
問18 問16で3～5に○をつけた方にうかがいます。希望する転居先はどちらですか。(1つに○)

わからない、希望はないが半数近くを占めており、次いで市外への転出を希望する人が3割を占めている。転出先としては、茨城県内が約7割を占めている。

	票数	%
1 市内	12	11.5%
2 市外	29	27.9%
3 わからない、特に希望はない	48	46.2%
無回答・無効	15	14.4%
合計	104	100%



■市内 □市外 ▨わからない、特に希望はない ▩無回答・無効

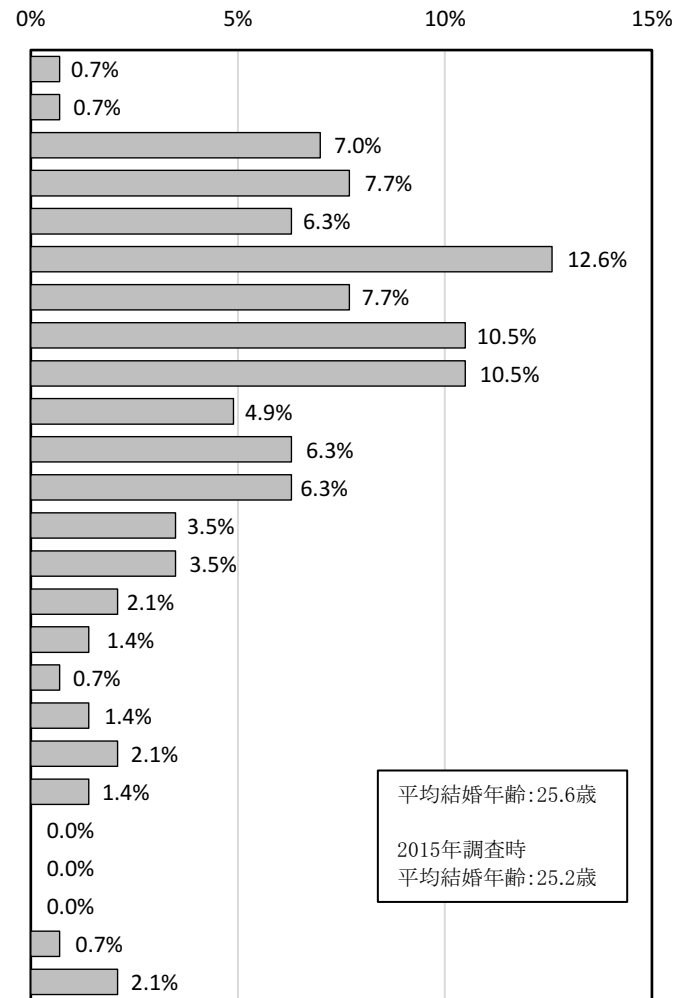


4. 結婚・子育てについて

問19 既婚の方、または結婚していた方(問4で1または3と回答した方)にうかがいます。結婚(初婚)した年齢を教えてください。

結婚(初婚)した年齢は、23歳が最も多くを占め25歳・26歳がそれに次いでいる。2015年調査と比べて平均結婚年齢が25.2歳から25.6歳へと遅くなっている。

	2019年調査 (令和元年)	
	票数	%
18歳	1	0.7%
19歳	1	0.7%
20歳	10	7.0%
21歳	11	7.7%
22歳	9	6.3%
23歳	18	12.6%
24歳	11	7.7%
25歳	15	10.5%
26歳	15	10.5%
27歳	7	4.9%
28歳	9	6.3%
29歳	9	6.3%
30歳	5	3.5%
31歳	5	3.5%
32歳	3	2.1%
33歳	2	1.4%
34歳	1	0.7%
35歳	2	1.4%
36歳	3	2.1%
37歳	2	1.4%
38歳	0	0.0%
39歳	0	0.0%
40歳	0	0.0%
その他(24歳~25歳)	1	0.7%
無回答・無効	3	2.1%
合計	143	100%

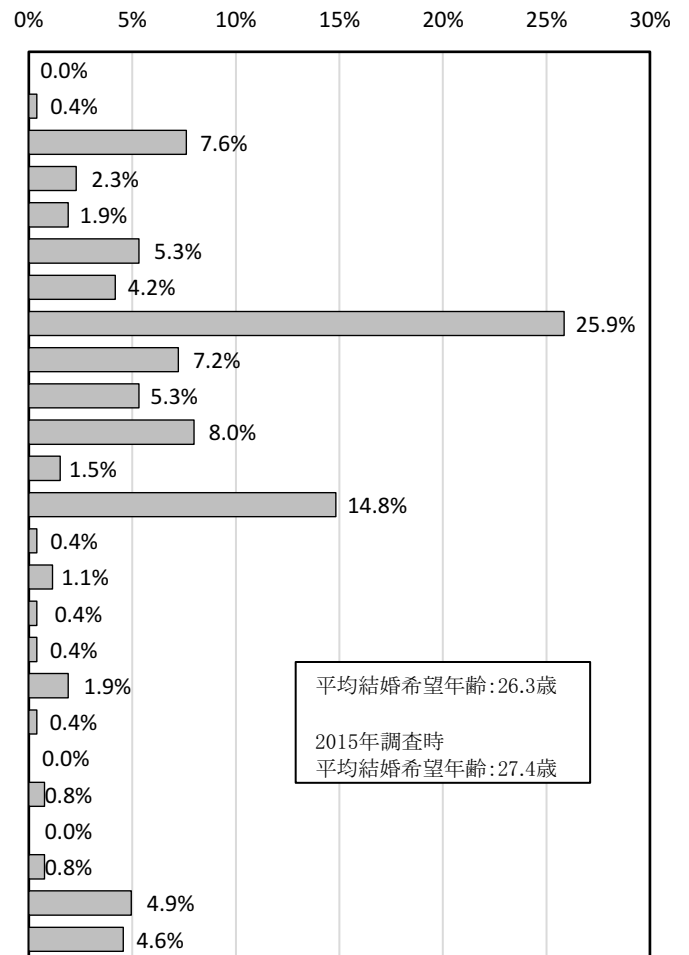


問20. すべての方にうかがいます。結婚を希望する(希望していた)年齢を教えてください。結婚を希望しない場合は2に○をつけてください。

結婚を希望する(希望していた)年齢は、25歳が最も多くを占め30歳がそれに次いでいる。2015年調査と比べて平均結婚希望年齢が27.4歳から26.3歳へ早まっている。

	2015年調査 (平成27年)		2019年調査 (令和元年)	
	票数	%	票数	%
1 希望する	448	80.7%	263	85.1%
2 希望しない	78	14.1%	40	12.9%
無回答・無効	29	5.2%	6	1.9%
合計	555	100%	309	100%

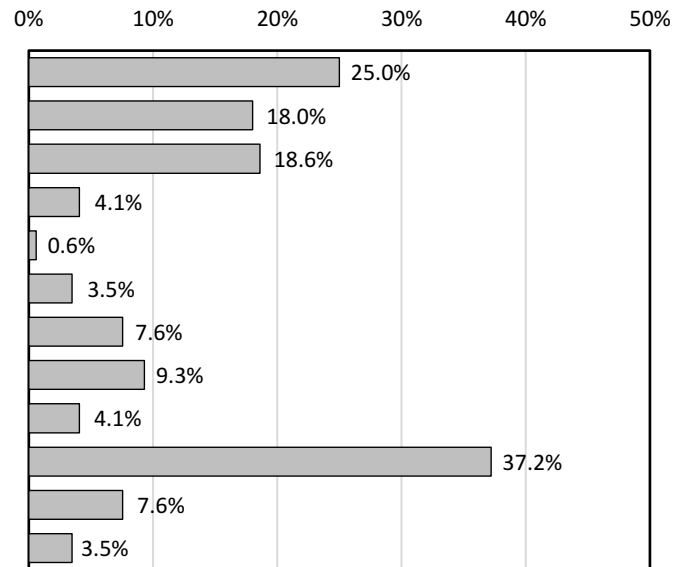
	2019年調査 (令和元年)	
	票数	%
18歳	0	0.0%
19歳	1	0.4%
20歳	20	7.6%
21歳	6	2.3%
22歳	5	1.9%
23歳	14	5.3%
24歳	11	4.2%
25歳	68	25.9%
26歳	19	7.2%
27歳	14	5.3%
28歳	21	8.0%
29歳	4	1.5%
30歳	39	14.8%
31歳	1	0.4%
32歳	3	1.1%
33歳	1	0.4%
34歳	1	0.4%
35歳	5	1.9%
36歳	1	0.4%
37歳	0	0.0%
38歳	2	0.8%
39歳	0	0.0%
40歳	2	0.8%
その他	13	4.9%
無回答・無効	12	4.6%
合計	263	100%



問21 現在結婚していない方(問4で2または3と回答した方)にうかがいます。結婚をしていない理由を教えてください。

学生なので考えていないが最も多くを占め、結婚したいが出会いがないがそれに次いでいる。

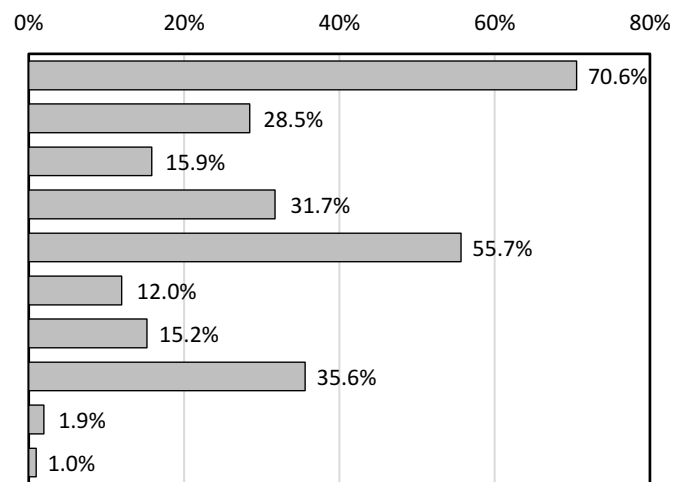
	票数	%
1 結婚をしたいが、出会いがない	43	25.0%
2 雇用・収入が不安定でできない	31	18.0%
3 なんとなく(特に理由はない)	32	18.6%
4 周囲から結婚を催促されないから	7	4.1%
5 周囲が結婚していないから	1	0.6%
6 親や親戚から反対されている	6	3.5%
7 仕事・趣味を続けたいから	13	7.6%
8 今は結婚したくない	16	9.3%
9 今後も結婚を希望しない	7	4.1%
10 学生なので考えていない	64	37.2%
11 その他	13	7.6%
無回答・無効	6	3.5%



問22 結婚に対して期待できそうな(期待していた)ことは何ですか。

子どもや家庭が持てることが最も多くを占め、好きな人と一緒にいられるがそれに次いでいる。

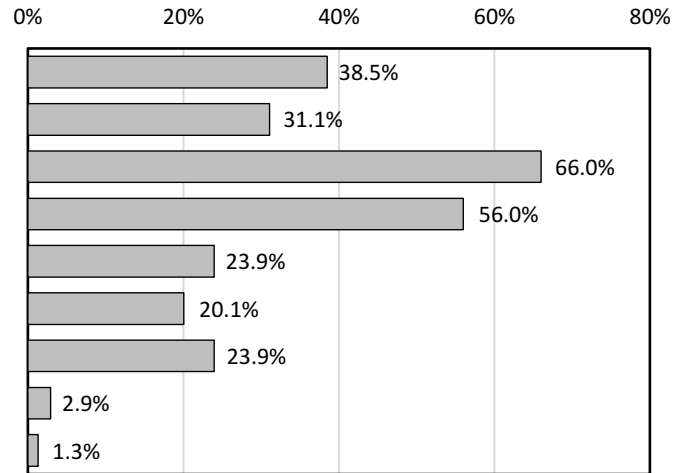
	票数	%
1 子どもや家庭をもてる	218	70.6%
2 周囲を安心させることができる	88	28.5%
3 親から独立できる	49	15.9%
4 精神的な安定が得られる	98	31.7%
5 好きな人と一緒にいられる	172	55.7%
6 社会的な信用が得られる	37	12.0%
7 経済的余裕がもてる	47	15.2%
8 人生の喜びや悲しみを分かち合える	110	35.6%
9 その他	6	1.9%
無回答・無効	3	1.0%



問23 結婚に対して不安になりそうな(不安に思っていた)ことは何ですか。

生計を維持していけるかが最も多くを占め、円満な家庭を築けるかがそれに次いでいる。

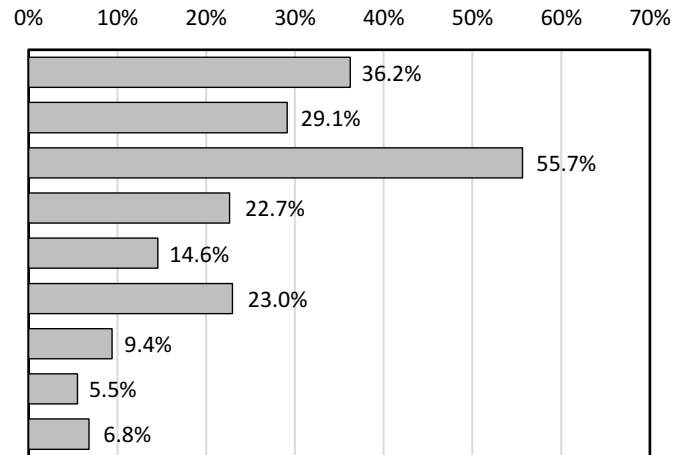
	票数	%
1 自分の自由な時間を保てるか	119	38.5%
2 自分のお金を自由に使えるか	96	31.1%
3 生計を維持していけるか	204	66.0%
4 円満な家庭を築けるか	173	56.0%
5 家事を分担できるか	74	23.9%
6 仕事(または学業)を続けていけるか	62	20.1%
7 自分の好み(ファッション、食べ物、趣味など)を楽しめるか	74	23.9%
8 その他	9	2.9%
無回答・無効	4	1.3%



問24 結婚を考える際に障害になりそうな(障害になった)ことは何ですか。

結婚後の生計が最も多く5割を超え、結婚資金がそれに次いでいる。

	票数	%
1 結婚資金	112	36.2%
2 結婚後の住居	90	29.1%
3 結婚後の生計	172	55.7%
4 職業や仕事(学校や学業)	70	22.7%
5 親の承認	45	14.6%
6 親との同居や扶養	71	23.0%
7 年齢	29	9.4%
8 健康上	17	5.5%
無回答・無効	21	6.8%

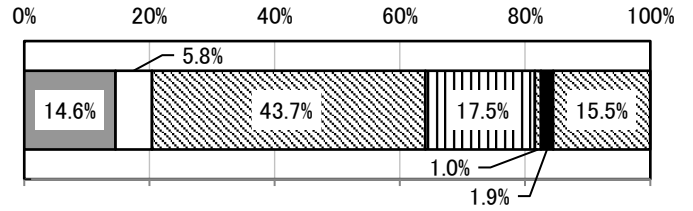


問25 予定している(予定していた)お子さんの人数、現在のお子さんの人数、理想のお子さんの人数はそれぞれ何人ですか。

① 予定している子どもの人数

予定している子どもの人数は2人が多く、平均は1.81人となっている。

	票数	%
0 0人	45	14.6%
1 1人	18	5.8%
2 2人	135	43.7%
3 3人	54	17.5%
4 4人	3	1.0%
その他(2~3人)	6	1.9%
無回答・無効	48	15.5%
合計	309	100%



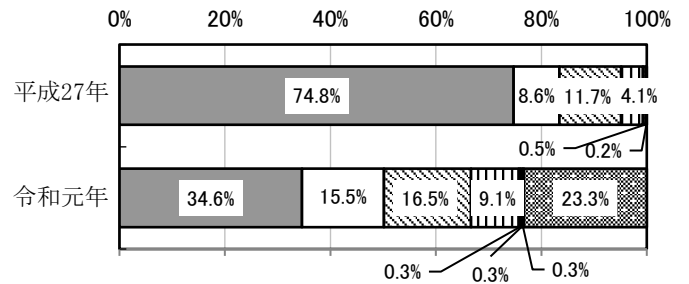
□0人 □1人 □2人 □3人 □4人 ■その他(2~3人) □無回答・無効

平均 1.81 人

② 現在のお子さんの人数

現在の子どもの人数は、0人が最も多く2人が次いでいる。2015年調査と比べるとお子さんの平均人数は1.89から1.92に増加している。

	2015年調査 (平成27年)		2019年調査 (令和元年)	
	票数	%	票数	%
0 0人	415	74.8%	107	34.6%
1 1人	48	8.6%	48	15.5%
2 2人	65	11.7%	51	16.5%
3 3人	23	4.1%	28	9.1%
4 4人	3	0.5%	1	0.3%
5 5人	0	0.0%	1	0.3%
6 6人	1	0.2%	1	0.3%
無回答・無効	0	0.0%	72	23.3%
合計	555	100%	309	100%



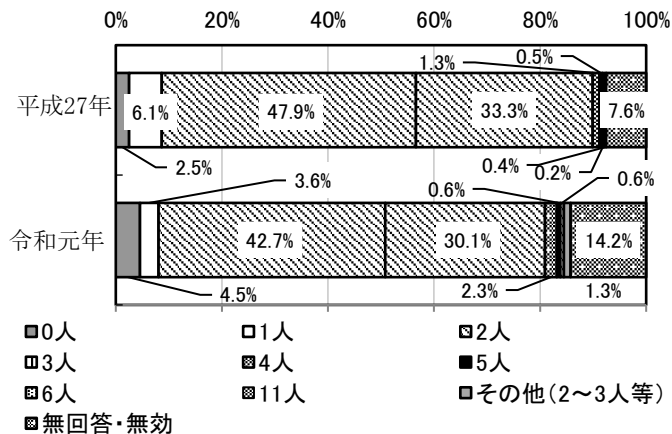
□0人 □1人 □2人 □3人 □4人 ■5人 □6人 □無回答・無効

平均 1.92 人
参考 平成27年度調査 平均 1.89 人

③理想のお子さんの人数

理想の子ども的人数は、2人が最も多く3人が次いでいる。2015年調査と比べるとお子さんの平均人数はほぼ横ばいである。

	2015年調査 (平成27年)		2019年調査 (令和元年)	
	票数	%	票数	%
0 0人	14	2.5%	14	4.5%
1 1人	34	6.1%	11	3.6%
2 2人	266	47.9%	132	42.7%
3 3人	185	33.3%	93	30.1%
4 4人	7	1.3%	7	2.3%
5 5人	3	0.5%	2	0.6%
6 6人	1	0.2%	2	0.6%
7 11人	1	0.2%	0	0.0%
その他(2~3人等)	2	0.4%	4	1.3%
無回答・無効	42	7.6%	44	14.2%
合計	555	100%	309	100%

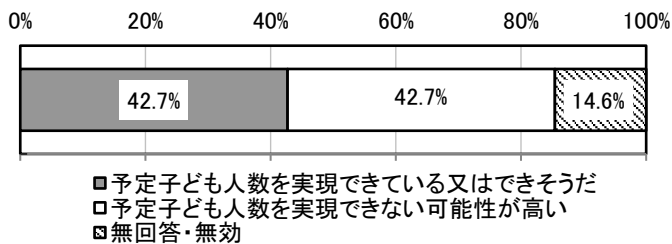


平均	2.31	人
参考 平成27年度調査	平均	2.31 人

問26 予定している(していた)お子さんの人数を実現できそうですか。

実現できそうだと実現できない可能性が高いが同数となっている。

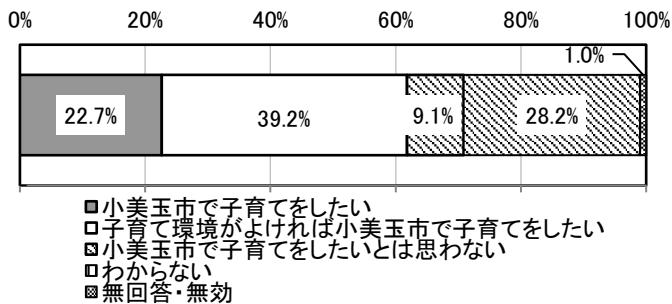
	票数	%
1 予定子ども人数を実現できている又はできそう	132	42.7%
2 予定子ども人数を実現できない可能性が高い	132	42.7%
無回答・無効	45	14.6%
合計	309	100%



問27 小美玉市で子育てをしていきたいと思いませんか。

回答者の小美玉市での子育て意向は、約4割が子育て環境が良ければ小美玉市で子育てをしたいとしている。

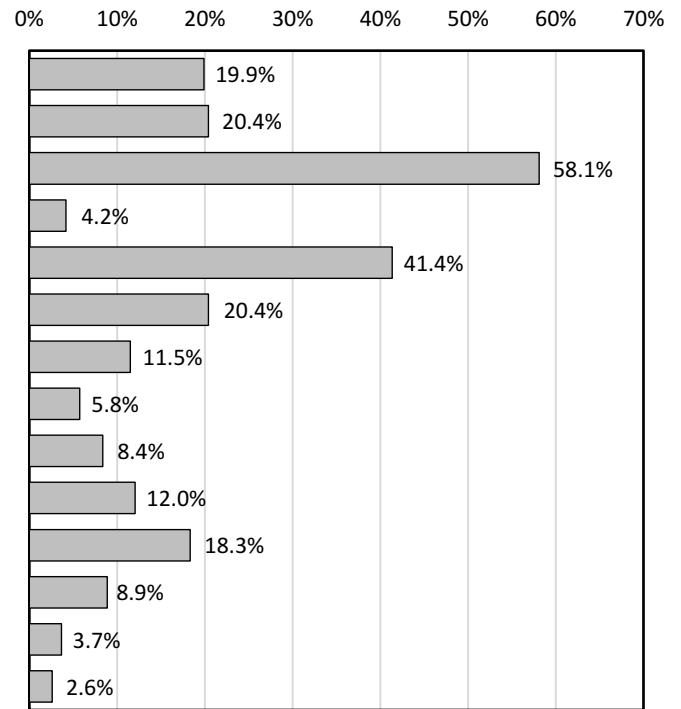
	票数	%
1 小美玉市で子育てをしたい	70	22.7%
2 子育て環境がよければ小美玉市で子育てをしたい	121	39.2%
3 小美玉市で子育てをしたいとは思わない	28	9.1%
4 わからない	87	28.2%
無回答・無効	3	1.0%
合計	309	100%



問28 問27で1または2に○をつけた方にうかがいます。小美玉市で子育てをしたいと思う理由は何ですか。

小美玉市で子育てしたい回答者の理由は、親族との同居・近居ができることが約6割を占め最も多い。自然の中でのびのび育つ環境があることがそれに次いでいる。

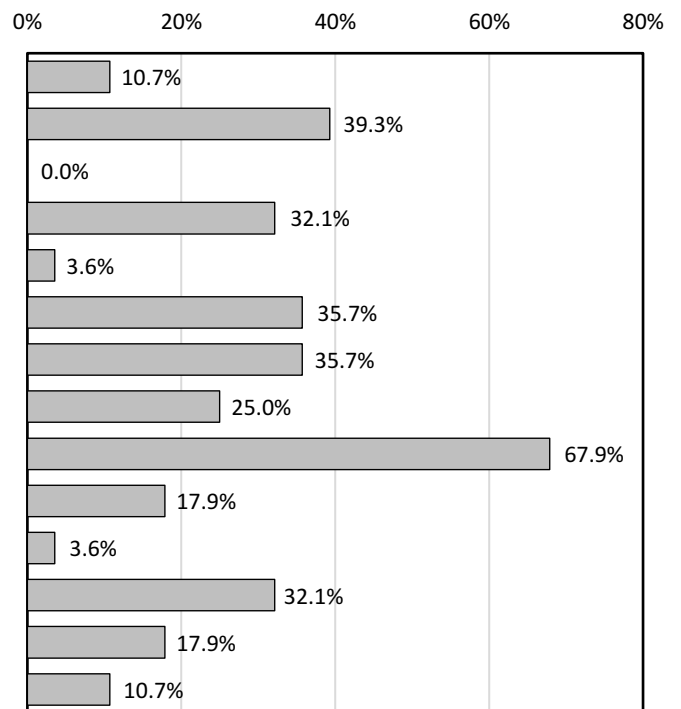
	票数	%
1 子育てに適した住宅がある	38	19.9%
2 仕事と育児を両立できる環境が整っている	39	20.4%
3 親族との同居・近居ができる	111	58.1%
4 育児をしやすい環境が整っている企業が多い	8	4.2%
5 自然の中でのびのび育つ環境がある	79	41.4%
6 教育・保育サービス(幼稚園・保育園等)が充実している	39	20.4%
7 地域における子ども・子育て支援サービスが充実している	22	11.5%
8 小・中学校の教育水準が高い	11	5.8%
9 高校や大学に通わせるのが便利	16	8.4%
10 学童保育等の就学児への保育サービスが充実している	23	12.0%
11 子育ての相談にのってくれる地域の人・友人がいる	35	18.3%
12 健康・医療面のサービスが安心して利用できる	17	8.9%
13 その他	7	3.7%
無回答・無効	5	2.6%



問29 問27で3に○をつけた方にうかがいます。小美玉市で子育てをしないとしない理由は何ですか。

高校や大学に通わせるのが不便が約7割で最も多くを占めている。

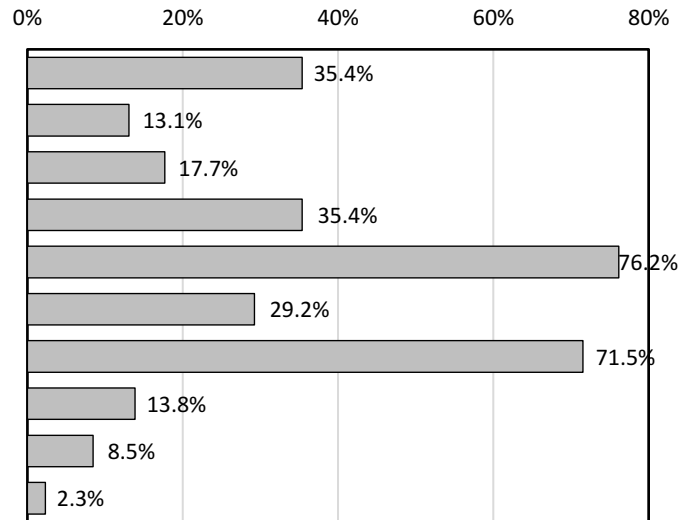
	票数	%
1 子育てに適した住宅がない	3	10.7%
2 仕事と育児を両立できる環境が整っていない	11	39.3%
3 親族との同居・近居ができない	0	0.0%
4 育児をしやすい環境が整っている企業が少ない	9	32.1%
5 自然の中でのびのび育つ環境がない	1	3.6%
6 教育・保育サービス(幼稚園・保育園等)が充実していない	10	35.7%
7 地域における子ども・子育て支援サービスが充実していない	10	35.7%
8 小・中学校の教育水準に不満がある	7	25.0%
9 高校や大学に通わせるのが不便	19	67.9%
10 学童保育等の就学児への保育サービスが充実していない	5	17.9%
11 子育ての相談にのってくれる地域の人・友人との関わりが少ない	1	3.6%
12 健康・医療面のサービスに不安がある	9	32.1%
13 その他	5	17.9%
無回答・無効	3	10.7%



問30 お子さんがいらっしゃる方にうかがいます。小美玉市の子育て支援についてどのように思いますか。

子どもを連れて出かけられる場所・公園が欲しいが7割を超え最も多くを占めている。それに次いで、子育て世帯への助成・優遇制度を充実させてほしいが多くを占めている。

	票数	%
1 子育てに関する情報をもっと提供してほしい	46	35.4%
2 子育て広場でのイベント・講習などをもっと開催してほしい	17	13.1%
3 保育園に入ることが難しい	23	17.7%
4 自分の体調や都合が悪い時に、乳幼児を気軽に預けられる場所がほしい	46	35.4%
5 子どもを連れて出かけられる場所・公園がもっとあるといい	99	76.2%
6 子育て広場などが近くにあるといい	38	29.2%
7 子育て世帯への助成、優遇制度をより充実させてほしい	93	71.5%
8 親同士の交流を持てる場がほしい	18	13.8%
9 その他	11	8.5%
無回答・無効	3	2.3%

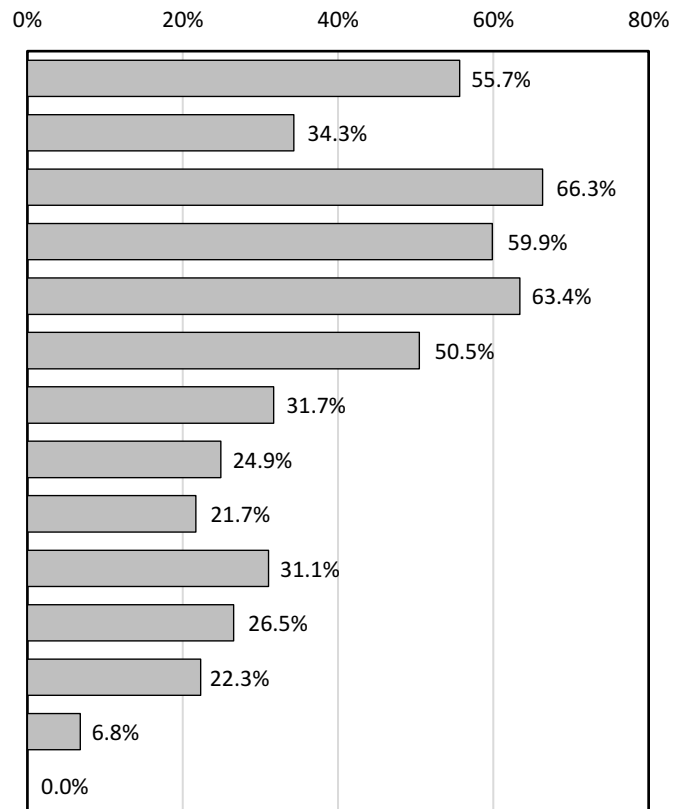


5. 小美玉市のまちづくりについて

問31 小美玉市の人口を増やしていくためには何が必要だとお考えですか。

バスや鉄道が使いやすく、通勤通学が便利になっているが最も多くを占める。

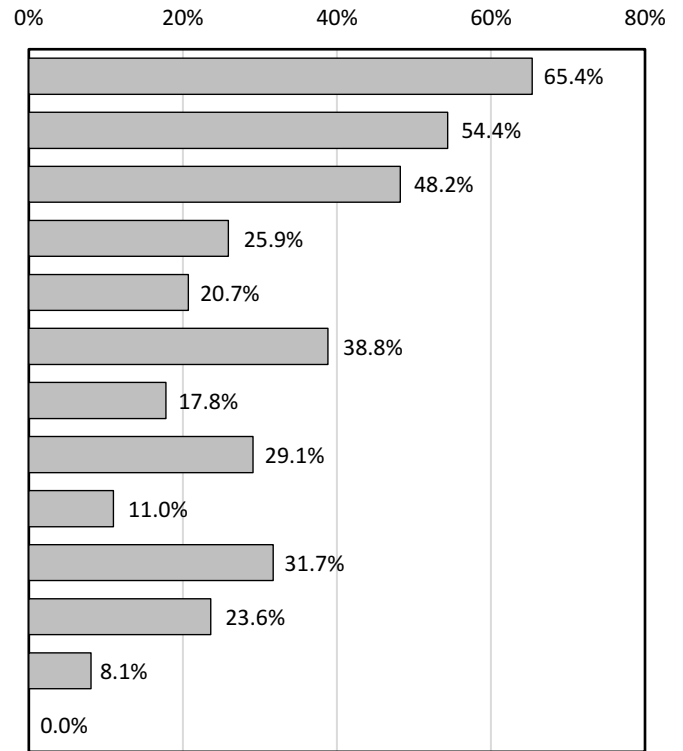
	票数	%
1 市内に働く場所がたくさんある	172	55.7%
2 住みやすい家がある	106	34.3%
3 バスや鉄道が使いやすく、通勤・通学が便利になっている	205	66.3%
4 仕事をしながら子育てができる	185	59.9%
5 教育費などにお金がかからない	196	63.4%
6 医療(病院に通いやすいなど)	156	50.5%
7 福祉(福祉サービスが充実しているなど)	98	31.7%
8 介護(介護サービスが充実しているなど)	77	24.9%
9 隣近所が仲良く、困ったときに助け合うことができるコミュニティがある	67	21.7%
10 転入者や1ターン・Uターンの人が引っ越してきやすい様々な支援がある	96	31.1%
11 若者の自立(就職や起業など)を支えるシステムが整っている	82	26.5%
12 若者の結婚を支えるシステムが整っている	69	22.3%
13 その他	21	6.8%
無回答・無効	0	0.0%



問32 お住まいの地域(学区)が今よりもっと住みよい地域となるためには何が必要とお考えですか。

バスや鉄道が使いやすくなるとよいが最も多くを占める。

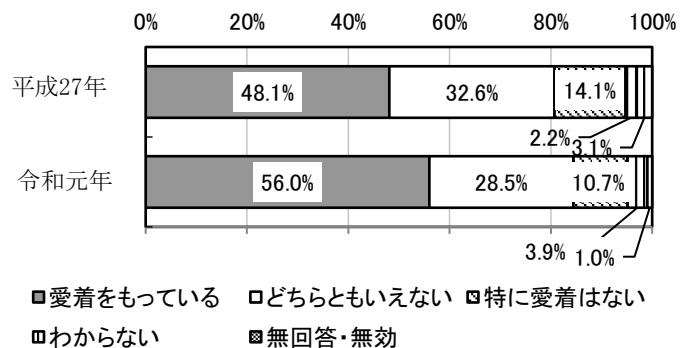
	票数	%
1 バスや鉄道が使いやすくなるとよい	202	65.4%
2 歩いて行ける場所で買い物ができるようになるるとよい	168	54.4%
3 病院に通いやすいなど医療サービスが充実しているとよい	149	48.2%
4 福祉サービスが充実しているとよい	80	25.9%
5 介護サービスが充実しているとよい	64	20.7%
6 地域の人達が、安心して安全に暮らせるとよい(防災、防犯、交通安全)	120	38.8%
7 隣近所が仲良く、困ったときに助け合える環境があるとよい	55	17.8%
8 現在の緑豊かな地域がずっと守られるとよい	90	29.1%
9 昔ながらの地域の伝統やまつりなどをもっと大事にするとよい	34	11.0%
10 空き家を地域活動拠点や移住者用住宅として有効活用するとよい	98	31.7%
11 市外からの転入者が住みたいような質の高い住宅をつくらるとよい	73	23.6%
12 その他	25	8.1%
無回答・無効	0	0.0%



問33 小美玉市に愛着を持っていますか。

愛着を持っているが半数以上で最も多くを占める。2015年調査と比べると愛着を持っている割合が多くなっている。

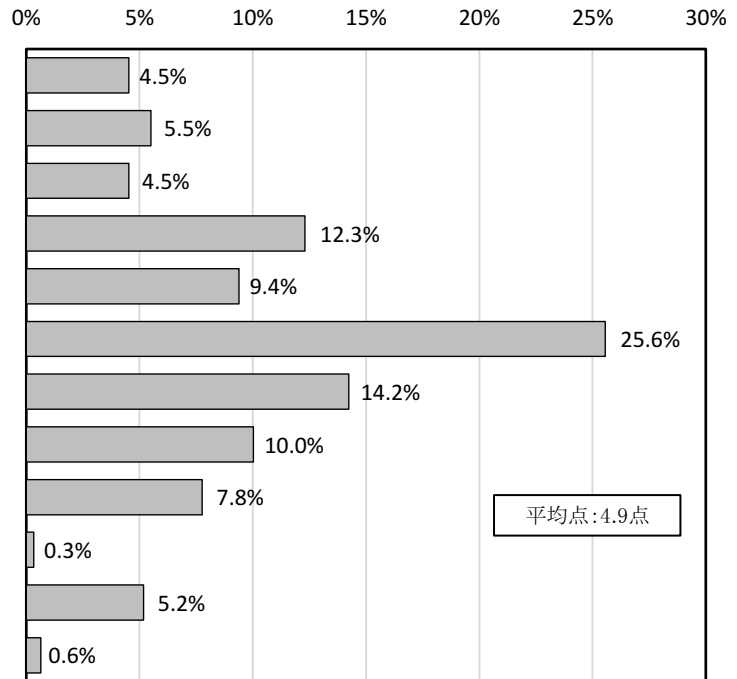
	2015年調査 (平成27年)		2019年調査 (令和元年)	
	票数	%	票数	%
1 愛着をもっている	267	48.1%	173	56.0%
2 どちらともいえない	181	32.6%	88	28.5%
3 特に愛着はない	78	14.1%	33	10.7%
4 わからない	12	2.2%	12	3.9%
無回答・無効	17	3.1%	3	1.0%
合計	555	100%	309	100%



問34 小美玉市を知人に推奨する(おすすめする)気持ちはどのぐらいありますか。

11段階で「5」が最も多くを占め、「6」がそれに次いでいる。平均点は4.9となっている。

	票数	%
0 低い	14	4.5%
1	17	5.5%
2	14	4.5%
3	38	12.3%
4	29	9.4%
5	79	25.6%
6	44	14.2%
7	31	10.0%
8	24	7.8%
9	1	0.3%
10 高い	16	5.2%
無回答・無効	2	0.6%
合計	309	100%



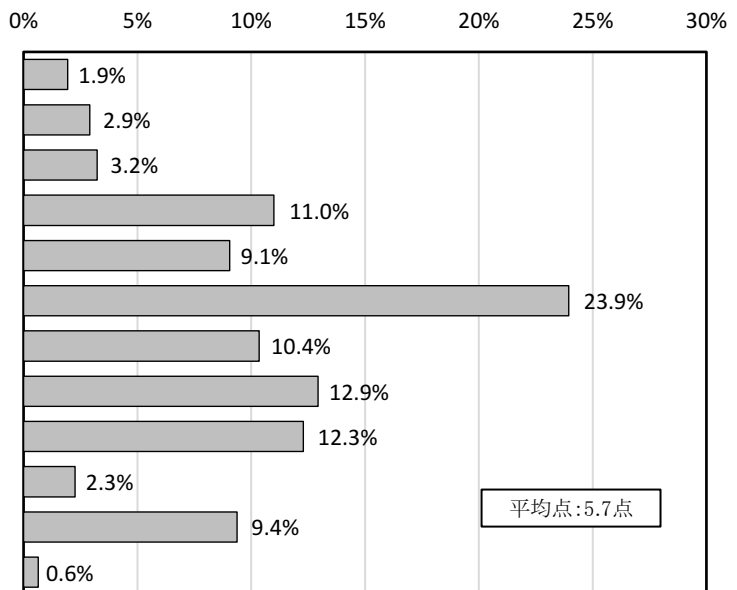
地域推奨意欲指数 -48.5

推奨者の比率(%) - 批判者の比率(%) = 地域推奨意欲指数

問35 小美玉市をよりよくしようとする活動に参加したい気持ち、あるいは応援する気持ちはどのぐらいありますか。

11段階で「5」が最も多くを占め、「7」がそれに次いでいる。平均点は5.7となっている。

	票数	%
0 低い	6	1.9%
1	9	2.9%
2	10	3.2%
3	34	11.0%
4	28	9.1%
5	74	23.9%
6	32	10.4%
7	40	12.9%
8	38	12.3%
9	7	2.3%
10 高い	29	9.4%
無回答・無効	2	0.6%
合計	309	100%



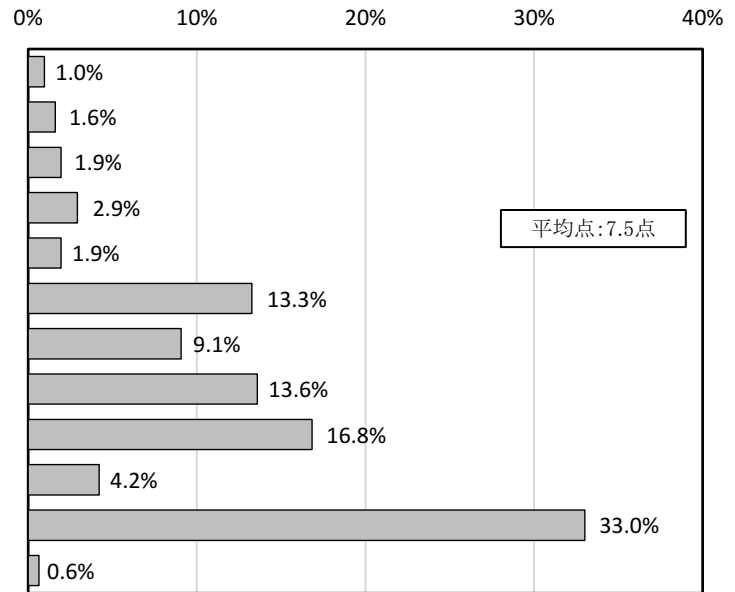
地域参加意欲指数 -28.2

積極者の比率(%) - 否定者の比率(%) = 地域参加意欲指数

問36 小美玉市をよりよくしようと活動している人に感謝する気持ちはどのぐらいありますか。

11段階で「10」が最も多くを占めている。平均点は7.5となっている。

	票数	%
0 低い	3	1.0%
1	5	1.6%
2	6	1.9%
3	9	2.9%
4	6	1.9%
5	41	13.3%
6	28	9.1%
7	42	13.6%
8	52	16.8%
9	13	4.2%
10 高い	102	33.0%
無回答・無効	2	0.6%
合計	309	100%



地域活動感謝意欲指数 31.39

積極者の比率(%) - 否定者の比率(%) = 地域活動感謝意欲数

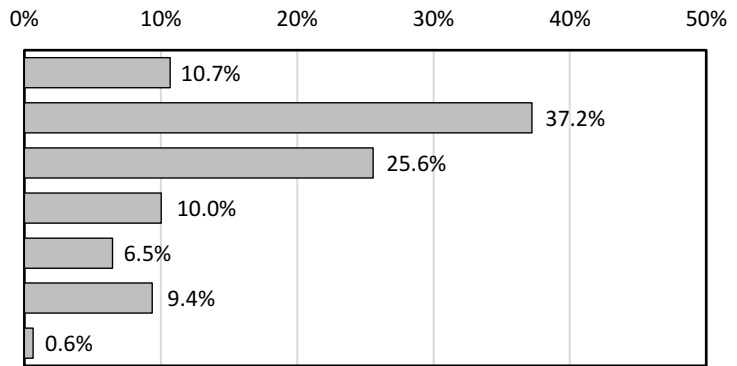
問37 小美玉市では、「小美玉市まち・ひと・しごと創生総合戦略ダイヤモンドシティ・プロジェクト」として、以下の施策に取り組んでまいりました。各施策の「必要性」についてお答えください。

政策分野1

政策分野1は、2つの施策でともに特に必要又は必要の割合が半数近くを占めている。特に「だから私はこのまちで楽しい子育てをする」は特に必要な施策だと思うが約半数を占めており、8割以上が必要性を感じている施策といえる。

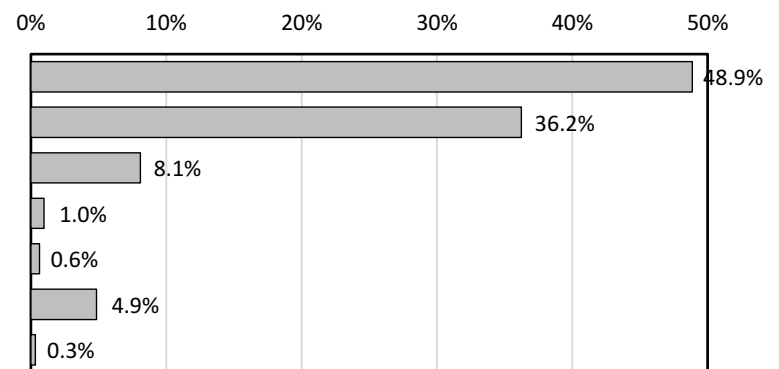
私はこのまちで恋をする～ダイヤのように固く結ばれる恋を～

	票数	%
1 特に必要な施策だと思う	33	10.7%
2 必要な施策だと思う	115	37.2%
3 どちらでもない	79	25.6%
4 あまり必要な施策ではない	31	10.0%
5 必要な施策ではない	20	6.5%
6 よくわからない	29	9.4%
無回答・無効	2	0.6%
合計	309	100%



だから私はこのまちで楽しい子育てをする～ダイヤのように明るく輝く家庭を～

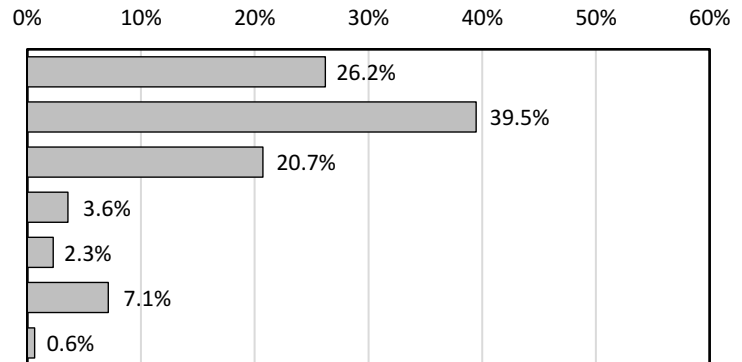
	票数	%
1 特に必要な施策だと思う	151	48.9%
2 必要な施策だと思う	112	36.2%
3 どちらでもない	25	8.1%
4 あまり必要な施策ではない	3	1.0%
5 必要な施策ではない	2	0.6%
6 よくわからない	15	4.9%
無回答・無効	1	0.3%
合計	309	100%



政策分野2は、3つの施策でも特に必要又は必要の割合が半数近くを占めている。「公民連携に光をあてる」「新たな地域デザインを見つける」は、必要な施策だと思うが約3割5分となっているが、次いでどちらでもないが多くなっている。「地域資源を活かす」は約6割5分が必要な施策であると感じている。

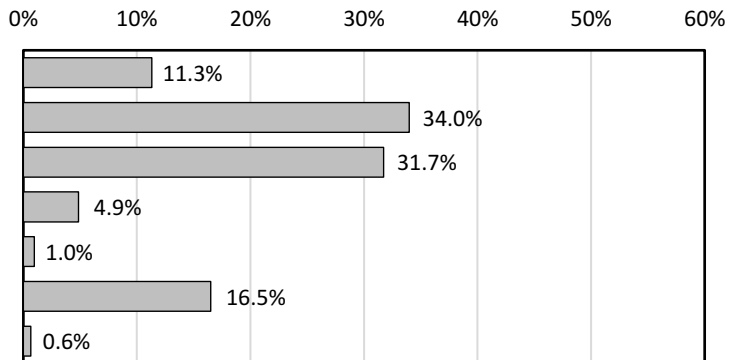
地域資源を活かす ～見つけて磨いて光をあてる～

	票数	%
1 特に必要な施策だと思う	81	26.2%
2 必要な施策だと思う	122	39.5%
3 どちらでもない	64	20.7%
4 あまり必要な施策ではない	11	3.6%
5 必要な施策ではない	7	2.3%
6 よくわからない	22	7.1%
無回答・無効	2	0.6%
合計	309	100%



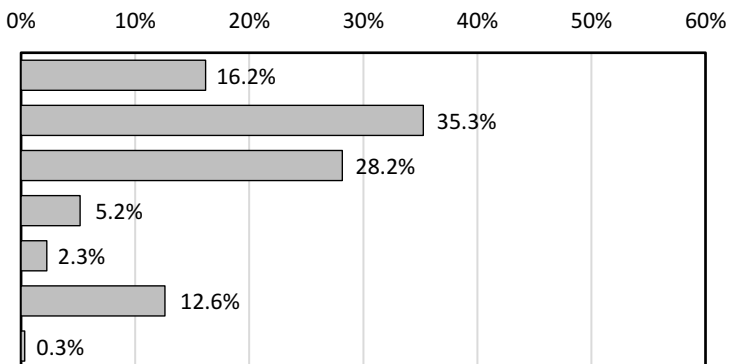
公民連携に光をあてる ～みんなで磨く～

	票数	%
1 特に必要な施策だと思う	35	11.3%
2 必要な施策だと思う	105	34.0%
3 どちらでもない	98	31.7%
4 あまり必要な施策ではない	15	4.9%
5 必要な施策ではない	3	1.0%
6 よくわからない	51	16.5%
無回答・無効	2	0.6%
合計	309	100%



新たな地域デザインを見つける ～みんなで光る～

	票数	%
1 特に必要な施策だと思う	50	16.2%
2 必要な施策だと思う	109	35.3%
3 どちらでもない	87	28.2%
4 あまり必要な施策ではない	16	5.2%
5 必要な施策ではない	7	2.3%
6 よくわからない	39	12.6%
無回答・無効	1	0.3%
合計	309	100%

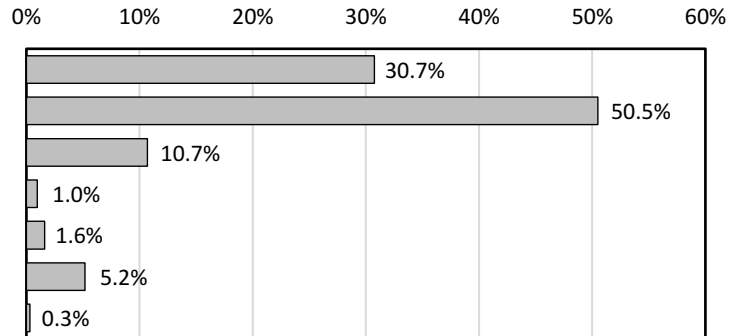


政策分野3

政策分野3は、2つの施策でともに特に必要又は必要の割合が7割以上を占めている。特に「あなたの「働く」を応援する」は8割を超えている。

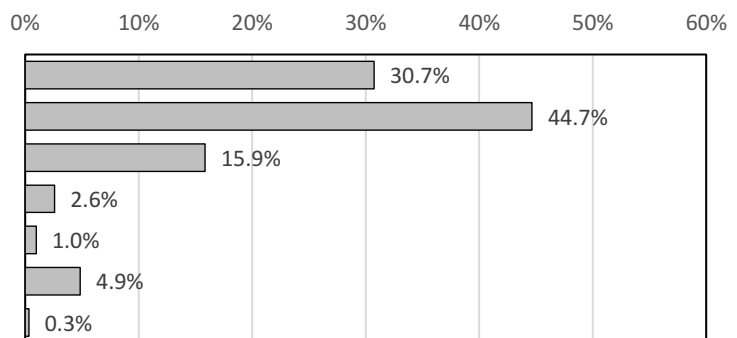
あらたな「働く」をカタチにする～原石を見つけ、磨き上げる～

	票数	%
1 特に必要な施策だと思う	95	30.7%
2 必要な施策だと思う	138	44.7%
3 どちらでもない	49	15.9%
4 あまり必要な施策ではない	8	2.6%
5 必要な施策ではない	3	1.0%
6 よくわからない	15	4.9%
無回答・無効	1	0.3%
合計	309	100%



あなたの「働く」を応援する ～ダイヤモンドのように輝いて～

	票数	%
1 特に必要な施策だと思う	95	30.7%
2 必要な施策だと思う	156	50.5%
3 どちらでもない	33	10.7%
4 あまり必要な施策ではない	3	1.0%
5 必要な施策ではない	5	1.6%
6 よくわからない	16	5.2%
無回答・無効	1	0.3%
合計	309	100%

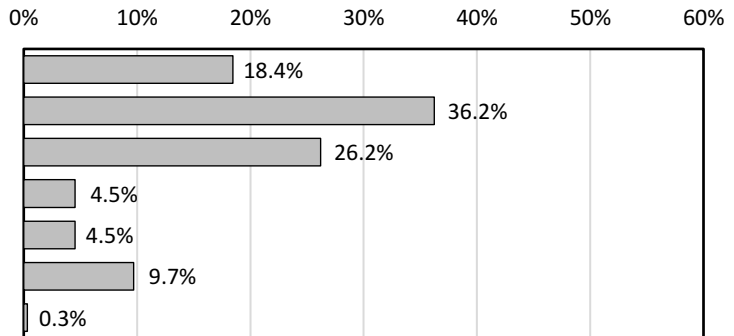


政策分野4

政策分野4は、「小美玉が恋しくなっちゃう」「小美玉に住みたくなっちゃう」「小美玉から離れられなくなっちゃう」でともに必要な施策だと思うが最も多く、特に「小美玉に住みたくなっちゃう」は、6割を超えている。「小美玉がうらやましくなっちゃう」は、どちらでもないが最も多く、次いで必要な施策だと思うが多い。

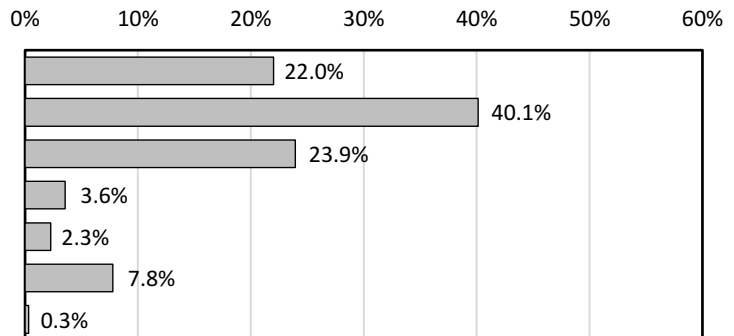
小美玉が恋しくなっちゃう～離れて気づくダイヤのように固い思い～

	票数	%
1 特に必要な施策だと思う	57	18.4%
2 必要な施策だと思う	112	36.2%
3 どちらでもない	81	26.2%
4 あまり必要な施策ではない	14	4.5%
5 必要な施策ではない	14	4.5%
6 よくわからない	30	9.7%
無回答・無効	1	0.3%
合計	309	100%



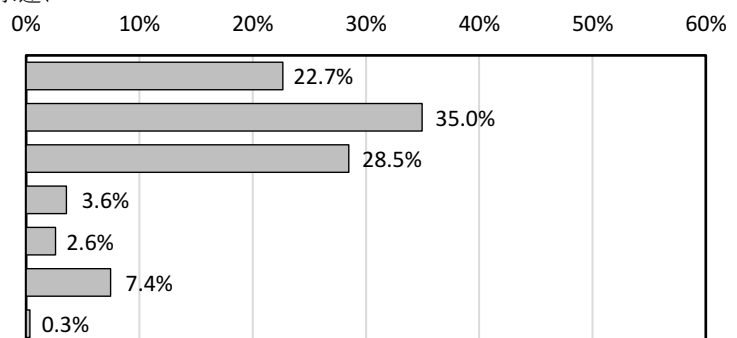
小美玉に住みたくなっちゃう～あなたにダイヤのような輝きを～

	票数	%
1 特に必要な施策だと思う	68	22.0%
2 必要な施策だと思う	124	40.1%
3 どちらでもない	74	23.9%
4 あまり必要な施策ではない	11	3.6%
5 必要な施策ではない	7	2.3%
6 よくわからない	24	7.8%
無回答・無効	1	0.3%
合計	309	100%



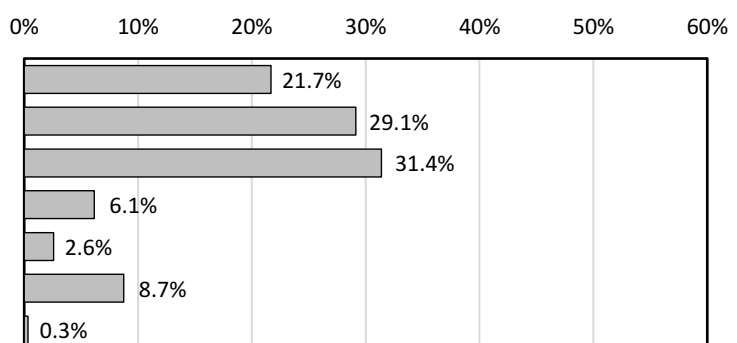
小美玉から離れられなくなっちゃう～育つ絆はダイヤのように永遠に～

	票数	%
1 特に必要な施策だと思う	70	22.7%
2 必要な施策だと思う	108	35.0%
3 どちらでもない	88	28.5%
4 あまり必要な施策ではない	11	3.6%
5 必要な施策ではない	8	2.6%
6 よくわからない	23	7.4%
無回答・無効	1	0.3%
合計	309	100%

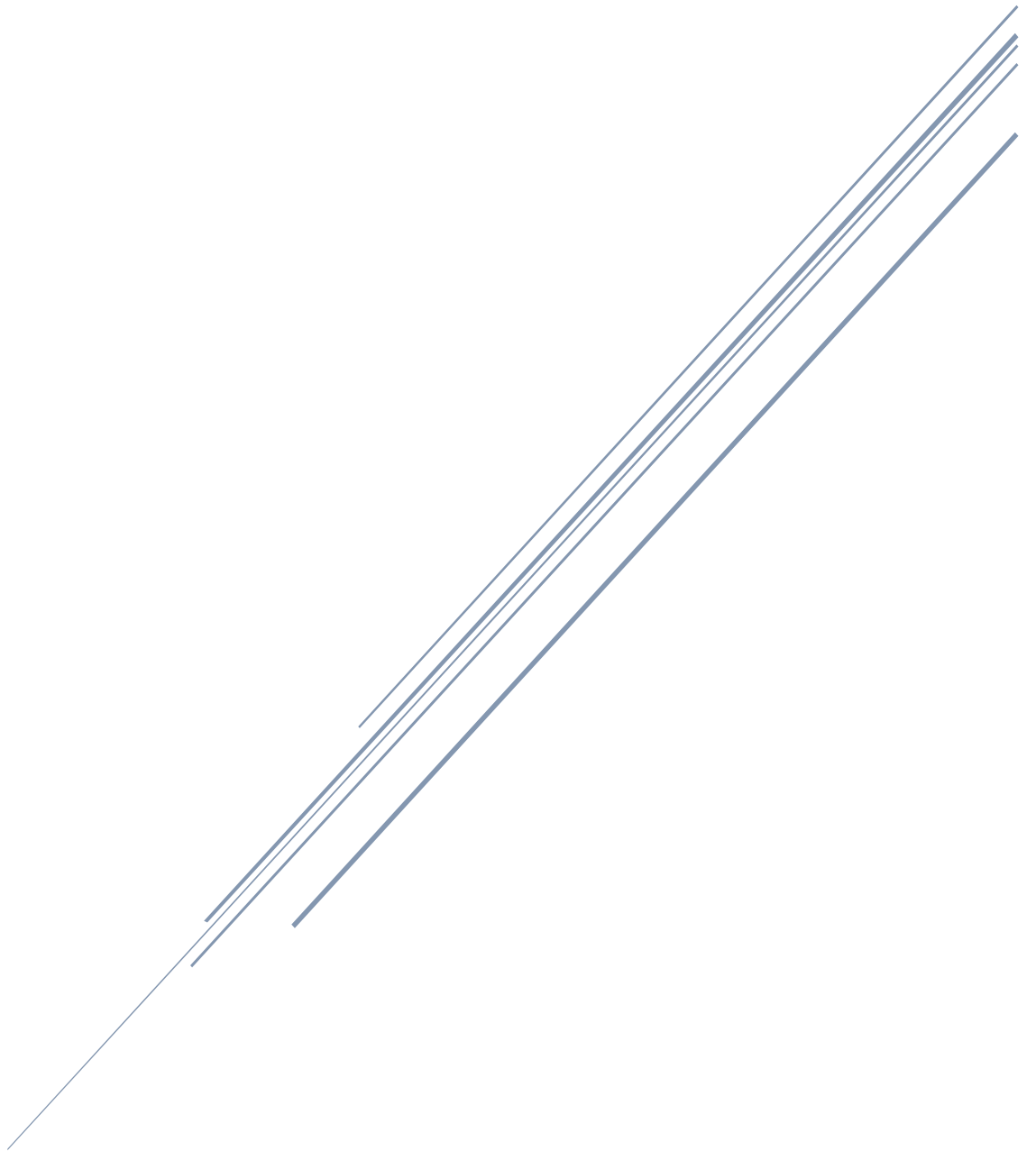


小美玉がうらやましくなっちゃう～ダイヤのように魅力を放つ～

	票数	%
1 特に必要な施策だと思う	67	21.7%
2 必要な施策だと思う	90	29.1%
3 どちらでもない	97	31.4%
4 あまり必要な施策ではない	19	6.1%
5 必要な施策ではない	8	2.6%
6 よくわからない	27	8.7%
無回答・無効	1	0.3%
合計	309	100%



若者（高校生世代） アンケート調査結果



・ 若者アンケート調査項目

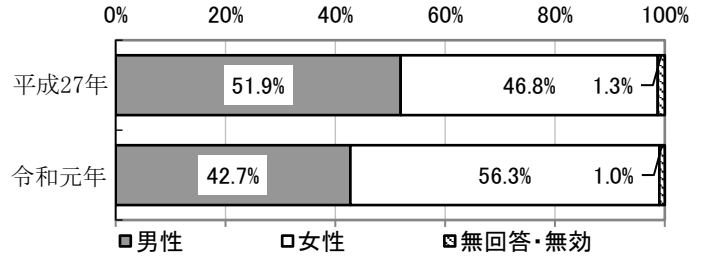
1	あなた自身のことについて
問1	あなたの性別をお答えください。
問2	あなたの生年月日をお答えください。
問3	あなたは学生ですか。
問4	お住まいの地域(学区)はどちらですか。(○は一つ)
2	職業・雇用について
問5	希望する職業についてお答えください。(複数回答)
問6	地元で働く場合、そのメリットは何だと思えますか。また、市外で働く場合、そのメリットは何だと思えますか。(複数回答)
3	小美玉市での定住意識について
問7	将来のお住いの希望についてお答えください。
4	結婚・子育てについて
問8	あなたは結婚したいと思えますか。
問9	結婚を希望する年齢を教えてください。
問10	問8で1と回答した方にうかがいます。その理由は何ですか。(複数回答)
問11	棟8で1と回答した方にうかがいます。子どもは何人欲しいですか。
問12	問8で2と回答した方にうかがいます。その理由は何ですか。(複数回答)
5	小美玉市のまちづくりについて
問13	小美玉市の人口を増やしていくためには何が必要だとお考えですか。(複数回答)
問14	あなたは、小美玉市に愛着をもっていますか。
問15	小美玉市を知人に推奨する(おすすめする)気持ちはどのぐらいありますか。
問16	小美玉市をよりよくしようとする活動に参加したい気持ち、あるいは応援する気持ちはどのぐらいありますか。
問17	小美玉市をよりよくしようと活動している人に感謝する気持ちはどのぐらいありますか。
問18	小美玉市のどのようなところを改善していくべきだと思いますか。
問19	小美玉市が自慢できるもの、大切にしていきたいもの、は何ですか。

1. あなた自身のことについて

問1 あなたの性別をお答えください。

女性の割合が高く約6割を占める。

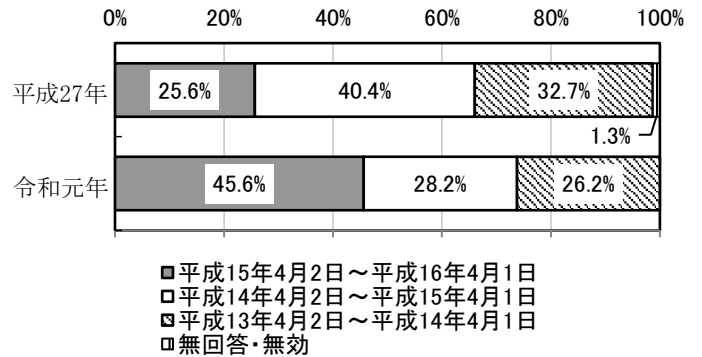
		2015年調査 (平成27年)		2019年調査 (令和元年)	
		票数	%	票数	%
1	男性	81	51.9%	44	42.7%
2	女性	73	46.8%	58	56.3%
	無回答・無効	2	1.3%	1	1.0%
	合計	156	100%	103	100%



問2 あなたの生年月日をお答えください。

高等学校1学年に該当する回答者が約5割と高い割合を占める。

		2015年調査 (平成27年)		2019年調査 (令和元年)	
		票数	%	票数	%
1	平成15年4月2日～平成16年4月1日	40	25.6%	47	45.6%
2	平成14年4月2日～平成15年4月1日	63	40.4%	29	28.2%
3	平成13年4月2日～平成14年4月1日	51	32.7%	27	26.2%
	無回答・無効	2	1.3%	0	0.0%
	合計	156	100%	103	100%

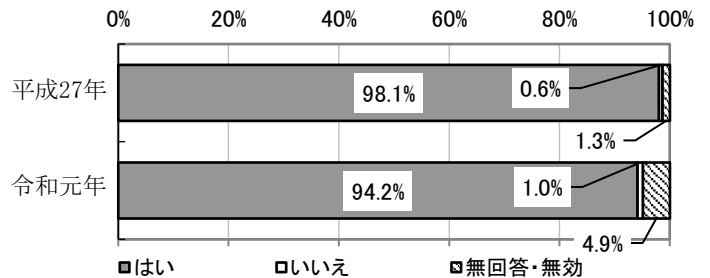


注) 選択肢1が高等学校の1学年に該当し、
選択肢2が2学年、選択肢3が3学年に該当する。

問3 あなたは学生ですか。

約95%の回答者が学生である。

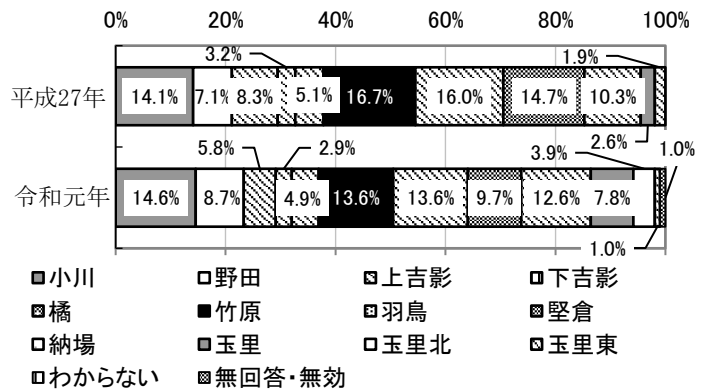
		2015年調査 (平成27年)		2019年調査 (令和元年)	
		票数	%	票数	%
1	はい	153	98.1%	97	94.2%
2	いいえ	1	0.6%	1	1.0%
	無回答・無効	2	1.3%	5	4.9%
	合計	156	100%	103	100%



問4 お住まいの地域(学区)はどちらですか。(〇は1つ)

美野里地区の回答者が約5割を占める。

		2015年調査 (平成27年)		2019年調査 (令和元年)	
		票数	%	票数	%
1	小川	22	14.1%	15	14.6%
2	野田	11	7.1%	9	8.7%
3	上吉影	13	8.3%	6	5.8%
4	下吉影	5	3.2%	3	2.9%
5	橘	8	5.1%	5	4.9%
6	竹原	26	16.7%	14	13.6%
7	羽鳥	25	16.0%	14	13.6%
8	堅倉	23	14.7%	10	9.7%
9	納場	16	10.3%	13	12.6%
10	玉里	4	2.6%	8	7.8%
11	玉里北	0	0.0%	4	3.9%
12	玉里東	3	1.9%	1	1.0%
13	わからない	0	0.0%	0	0.0%
	無回答・無効	0	0.0%	1	1.0%
	合計	156	100%	103	100%

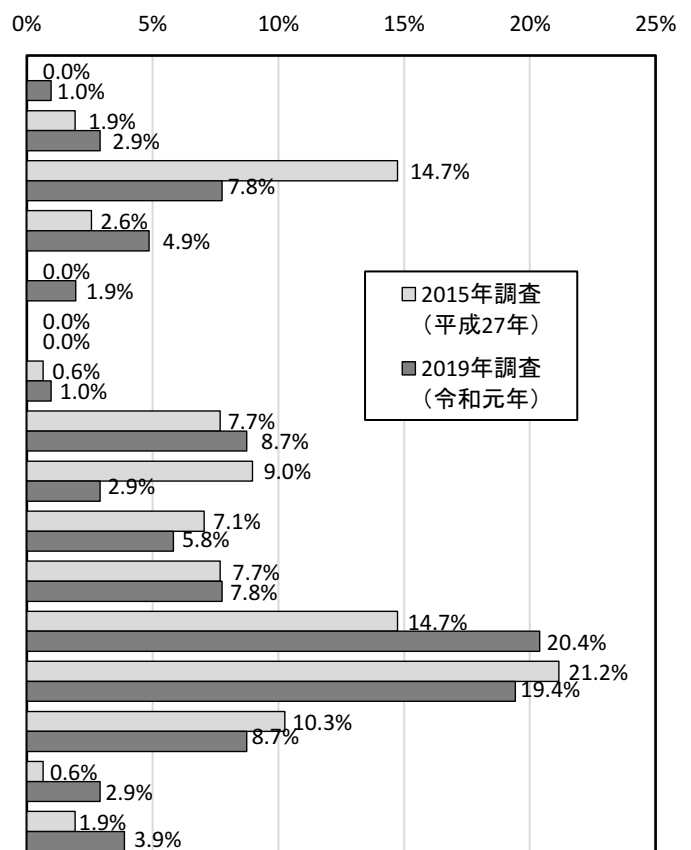


2. 職業・雇用について

問5 希望する職業についてお答えください。(複数回答)

医療業、福祉・介護事業、公務員の希望がそれぞれ2割を占める。2015年調査と比べ、製造業が最も減少し、医療業、福祉・介護事業が最も増加している。

		2015年調査 (平成27年)		2019年調査 (令和元年)	
		票数	%	票数	%
1	農林業	0	0.0%	1	1.0%
2	建設業	3	1.9%	3	2.9%
3	製造業(食品、繊維工業、印刷製本、化学工業、電子部品、電気機械器具など)	23	14.7%	8	7.8%
4	卸・小売業・飲食サービス業	4	2.6%	5	4.9%
5	金融・保険業	0	0.0%	2	1.9%
6	不動産業	0	0.0%	0	0.0%
7	運輸業	1	0.6%	1	1.0%
8	通信・メディア関連業(情報サービス、広告、出版など)	12	7.7%	9	8.7%
9	生活関連サービス業(理美容、家事サービス業など)	14	9.0%	3	2.9%
10	学術研究、専門・技術サービス業(各種コンサルタント、法務など)	11	7.1%	6	5.8%
11	教育・学習支援業	12	7.7%	8	7.8%
12	医療業、福祉・介護事業	23	14.7%	21	20.4%
13	公務員	33	21.2%	20	19.4%
14	その他の仕事	16	10.3%	9	8.7%
15	専業主婦(夫)	1	0.6%	3	2.9%
	無回答・無効	3	1.9%	4	3.9%
	合計	156	100%	103	100%

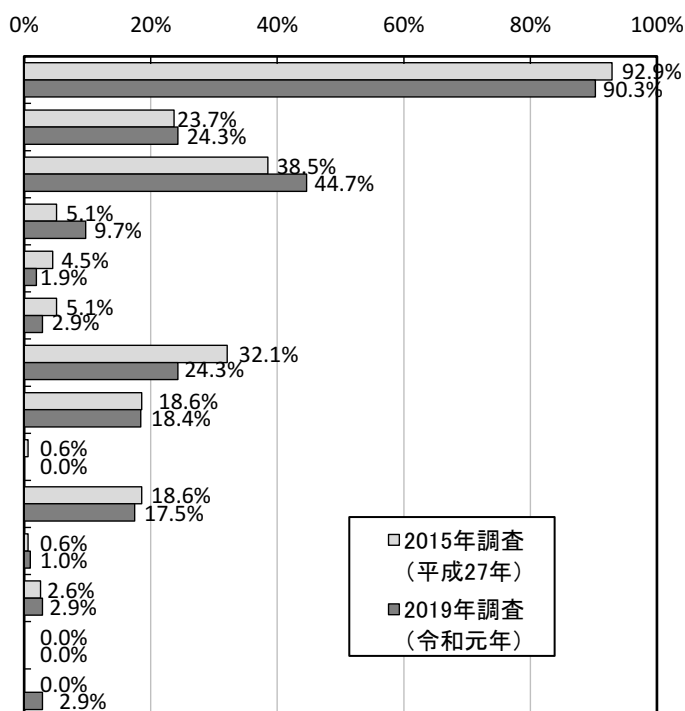


問6 地元で働く場合、そのメリットは何だと思いますか。また、市外で働く場合、そのメリットは何だと思いますか。(複数回答)

①地元企業のメリット

通勤のしやすさ、人間関係が地元で働くメリットと回答している。2015年調査と比べて友人がいて人間関係が築きやすいが最も増加し、家庭や育児との両立ができるが最も減少している。

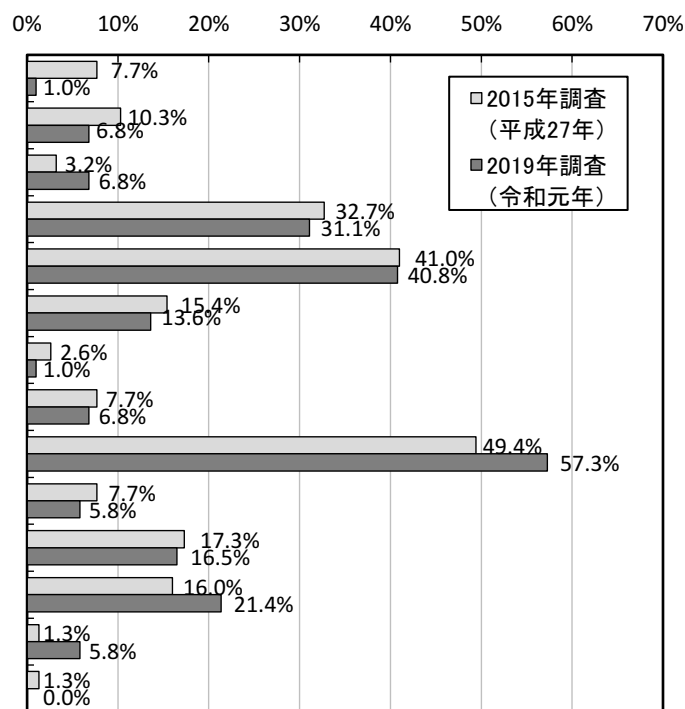
	2015年調査 (平成27年)		2019年調査 (令和元年)	
	票数	%	票数	%
1 通勤しやすい	139	92.9%	93	90.3%
2 なじみのある企業で働ける(企業の製品・サービスをよく知っている)	36	23.7%	25	24.3%
3 友人・知人がいて、人間関係を築きやすい	59	38.5%	46	44.7%
4 自分の知識やスキルを生かせる	8	5.1%	10	9.7%
5 知識やスキルを身に付け、ステップアップできる	7	4.5%	2	1.9%
6 待遇が良い	8	5.1%	3	2.9%
7 家庭や育児との両立ができる	50	32.1%	25	24.3%
8 自分の趣味との両立ができる	29	18.6%	19	18.4%
9 有名な企業に就職できる	1	0.6%	0	0.0%
10 定年まで勤められる	29	18.6%	18	17.5%
11 転職してステップアップできる	1	0.6%	1	1.0%
12 起業に役立つ経験が得られる	4	2.6%	3	2.9%
13 その他	0	0.0%	0	0.0%
無回答・無効	0	0.0%	3	2.9%



②市外企業のメリット

有名な企業、ステップアップスキルを生かせるが市外企業のメリットと回答している。2015年調査と比べて有名な企業に就職できるが最も増加し、通勤しやすいが最も減少している。

	2015年調査 (平成27年)		2019年調査 (令和元年)	
	票数	%	票数	%
1 通勤しやすい	12	7.7%	1	1.0%
2 なじみのある企業で働ける(企業の製品・サービスをよく知っている)	15	10.3%	7	6.8%
3 友人・知人がいて、人間関係を築きやすい	5	3.2%	7	6.8%
4 自分の知識やスキルを生かせる	51	32.7%	32	31.1%
5 知識やスキルを身に付け、ステップアップできる	62	41.0%	42	40.8%
6 待遇が良い	24	15.4%	14	13.6%
7 家庭や育児との両立ができる	4	2.6%	1	1.0%
8 自分の趣味との両立ができる	12	7.7%	7	6.8%
9 有名な企業に就職できる	77	49.4%	59	57.3%
10 定年まで勤められる	12	7.7%	6	5.8%
11 転職してステップアップできる	27	17.3%	17	16.5%
12 起業に役立つ経験が得られる	25	16.0%	22	21.4%
13 その他	2	1.3%	6	5.8%
無回答・無効	0	1.3%	0	0.0%

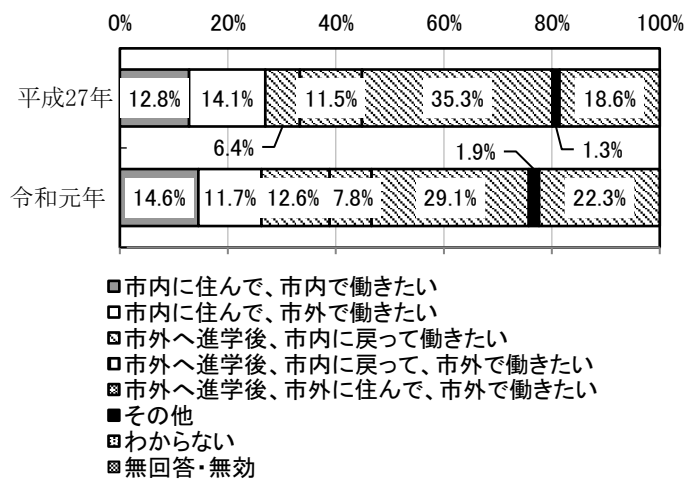


3. 小美玉市での定住意識について

問7 将来のお住まいの希望についてお答えください。

市外へ進学後、市外に住み、市外で働きたい回答者が約3割を占める。2015年調査と比べて市外へ進学後、市内に戻って働きたいが最も増加し、市外へ進学後、市外に住んで、市外で働きたいが最も減少している。

	2015年調査 (平成27年)		2019年調査 (令和元年)	
	票数	%	票数	%
1 市内に住んで、市内で働きたい	20	12.8%	15	14.6%
2 市内に住んで、市外で働きたい	22	14.1%	12	11.7%
3 市外へ進学後、市内に戻って働きたい	10	6.4%	13	12.6%
4 市外へ進学後、市内に戻って、市外で働きたい	18	11.5%	8	7.8%
5 市外へ進学後、市外に住んで、市外で働きたい	55	35.3%	30	29.1%
6 その他	2	1.3%	2	1.9%
7 わからない	29	18.6%	23	22.3%
無回答・無効	0	0.0%	0	0.0%
合計	156	100%	103	100%

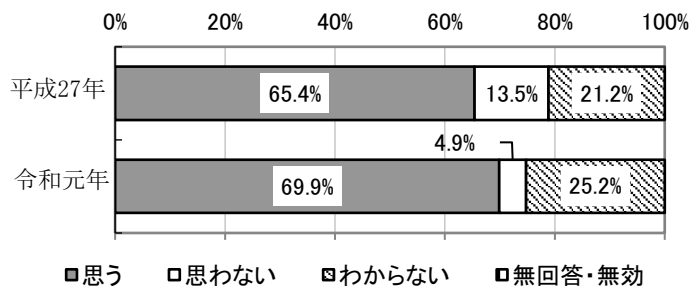


4. 結婚・子育てについて

問8 あなたは結婚したいと思いますか。

結婚したいと思っている回答者が約7割を占める。2015年調査と比べて結婚したいと思わないが最も減少している。

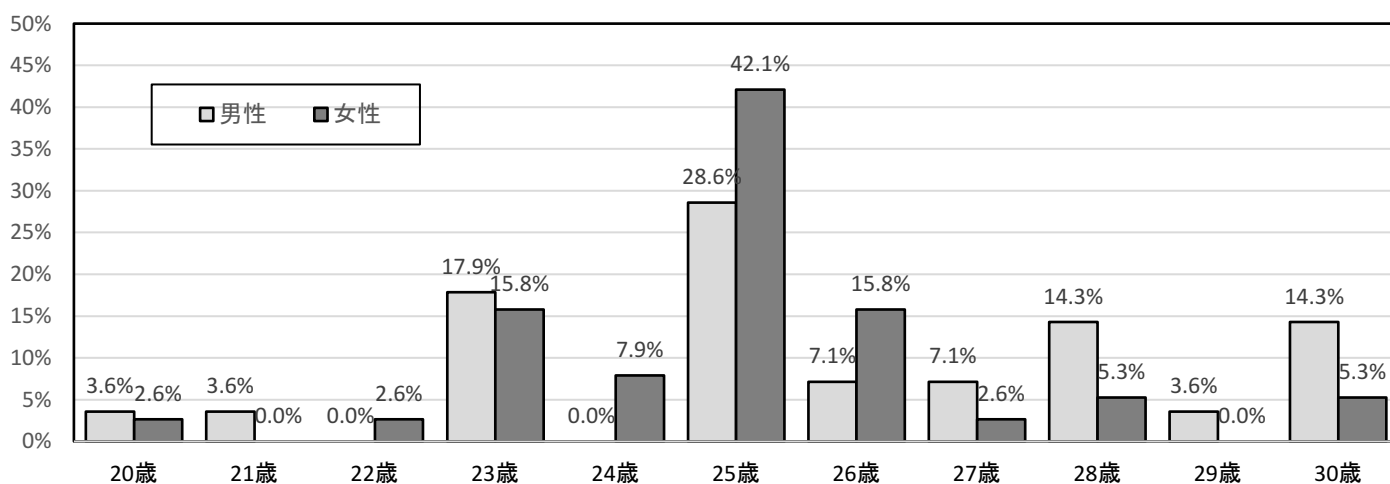
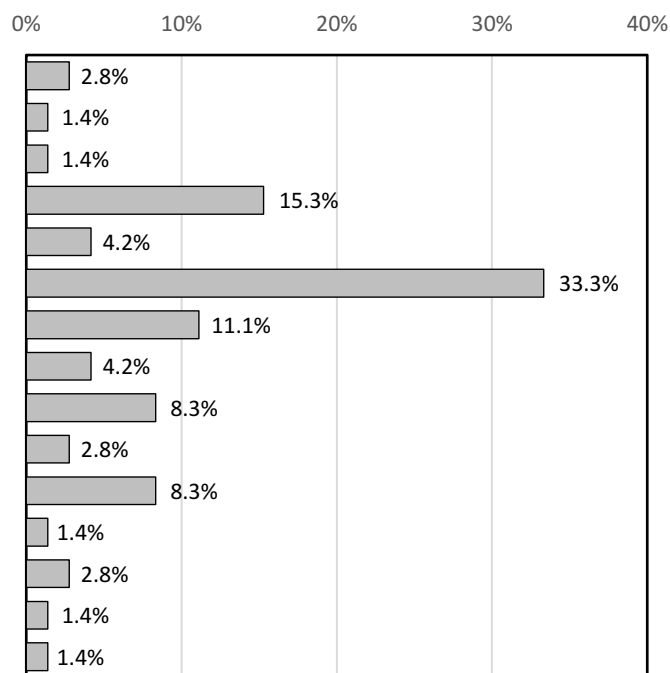
	2015年調査 (平成27年)		2019年調査 (令和元年)	
	票数	%	票数	%
1 思う	102	65.4%	72	69.9%
2 思わない	21	13.5%	5	4.9%
3 わからない	33	21.2%	26	25.2%
無回答・無効	0	0.0%	0	0.0%
合計	156	100%	103	100%



問9 結婚を希望する年齢を教えてください。

結婚したい年齢は、25歳が最も多く約3割を占める。性別ごとの結婚したい年齢は、男性と女性でともに25歳が最も多くを占める。

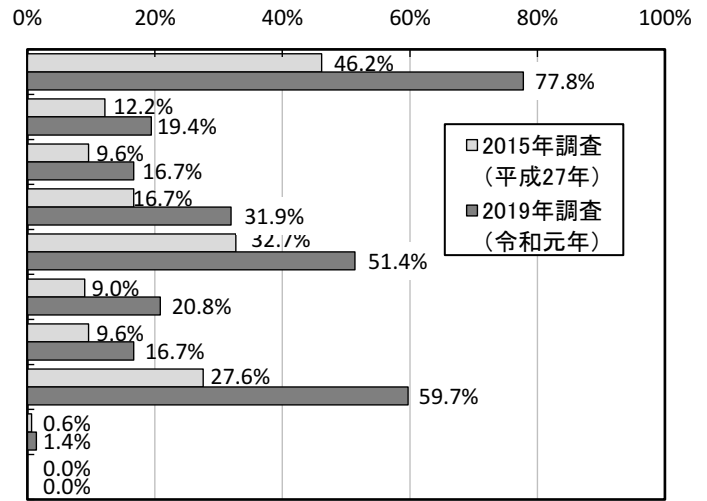
	2019年調査 (令和元年)	
	票数	%
20歳	2	2.8%
21歳	1	1.4%
22歳	1	1.4%
23歳	11	15.3%
24歳	3	4.2%
25歳	24	33.3%
26歳	8	11.1%
27歳	3	4.2%
28歳	6	8.3%
29歳	2	2.8%
30歳	6	8.3%
20代前半	1	1.4%
20代後半	2	2.8%
20代	1	1.4%
無回答・無効	1	1.4%
合計	72	100%



問10 問8で1と回答した方にうかがいます。その理由は何ですか。(複数回答)

子どもや家庭を持ち、人生を分かち合えることが多くを占める。2015年調査と比べて子どもや家庭が持てるなど全体的に多くなっている。

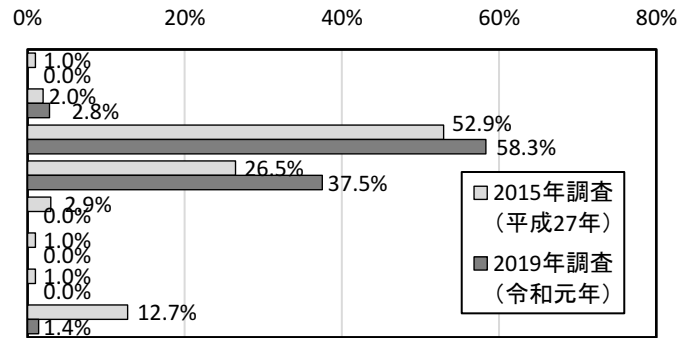
	2015年調査 (平成27年)		2019年調査 (令和元年)	
	票数	%	票数	%
1 子どもや家庭をもてる	72	46.2%	56	77.8%
2 周囲を安心させることができる	19	12.2%	14	19.4%
3 親から独立できる	15	9.6%	12	16.7%
4 精神的な安定が得られる	26	16.7%	23	31.9%
5 好きな人と一緒にいられる	51	32.7%	37	51.4%
6 社会的な信用が得られる	14	9.0%	15	20.8%
7 経済的余裕がもてる	15	9.6%	12	16.7%
8 人生の喜びや悲しみを分かち合える	43	27.6%	43	59.7%
9 その他	1	0.6%	1	1.4%
無回答・無効	0	0.0%	0	0.0%



問11 問8で1と回答した方にうかがいます。子どもは何人欲しいですか。

欲しい子どもの数は、2人が約6割、次いで3人が約4割を占める。

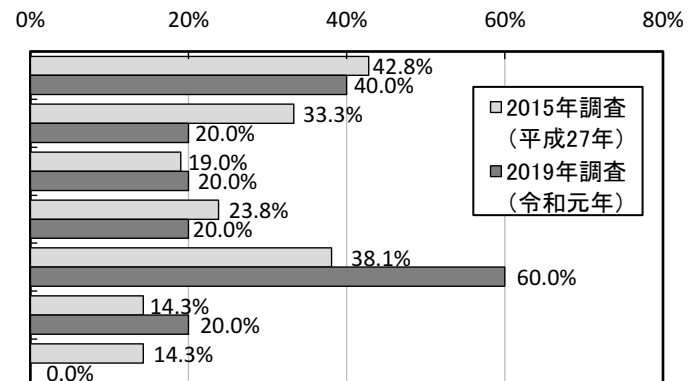
	2015年調査 (平成27年)		2019年調査 (令和元年)	
	票数	%	票数	%
0人	1	1.0%	0	0.0%
1人	2	2.0%	2	2.8%
2人	54	52.9%	42	58.3%
3人	27	26.5%	27	37.5%
4人	3	2.9%	0	0.0%
5人	1	1.0%	0	0.0%
6人	1	1.0%	0	0.0%
無回答・無効	13	12.7%	1	1.4%



問12 問8で2と回答した方にうかがいます。その理由は何ですか。(複数回答)

自分の好きなことをしたいが約6割を占める。

	2015年調査 (平成27年)		2019年調査 (令和元年)	
	票数	%	票数	%
1 自分の自由な時間がもたたい	9	42.8%	2	40.0%
2 自分のお金を自由に使いたい	7	33.3%	1	20.0%
3 人の分まで家事をしたくない(または分担したくない)	4	19.0%	1	20.0%
4 仕事(または学業)を続けたい	5	23.8%	1	20.0%
5 自分の好きなことをしたい	8	38.1%	3	60.0%
6 その他	3	14.3%	1	20.0%
無回答・無効	0	14.3%	0	0.0%

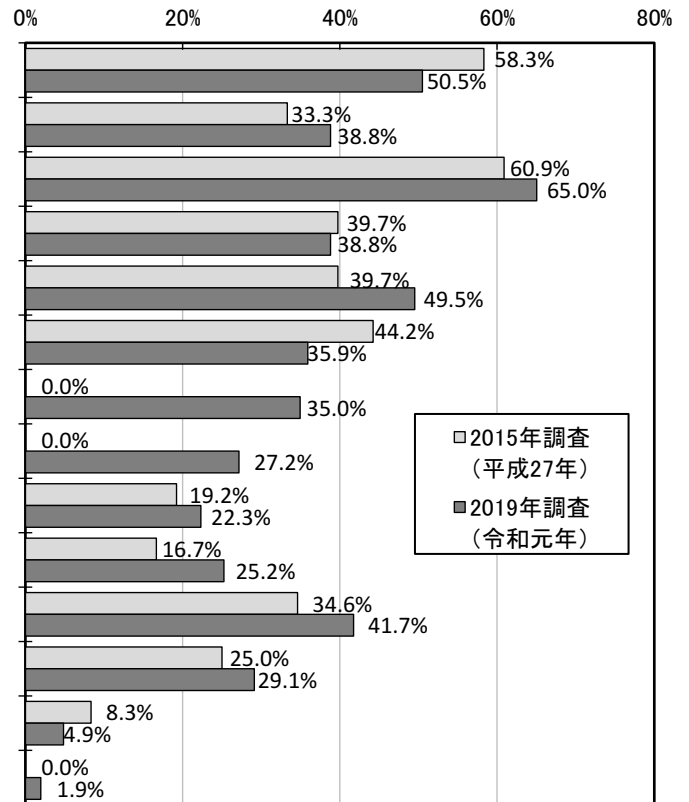


5. 小美玉のまちづくりについて

問13 小美玉市の人口を増やしていくためには何が必要だとお考えですか。(複数回答)

通勤・通学へのバスや鉄道の整備が最も多く6割を占める。次いで市内に働く場所がたくさんあるが約5割で、それに次いでいる。

	2015年調査 (平成27年)		2019年調査 (令和元年)	
	票数	%	票数	%
1 市内に働く場所がたくさんある	91	58.3%	52	50.5%
2 住みやすい家がある	52	33.3%	40	38.8%
3 バスや鉄道が使いやすく、通勤・通学が便利になっている	95	60.9%	67	65.0%
4 仕事をしながら子育てができる	62	39.7%	40	38.8%
5 教育費などにお金がかからない	62	39.7%	51	49.5%
6 病院に通いやすい		44.2%	37	35.9%
7 福祉サービスが充実している	69	0.0%	36	35.0%
8 介護サービスが充実している		0.0%	28	27.2%
9 隣近所が仲良く、困ったときに助け合うことができるコミュニティがある	30	19.2%	23	22.3%
10 転入者や1ターン・Uターンの人が引っ越してきやすい様々な支援がある	26	16.7%	26	25.2%
11 若者の自立(就職や起業など)を支えるシステムが整っている	54	34.6%	43	41.7%
12 若者の結婚を支えるシステムが整っている	39	25.0%	30	29.1%
13 その他	13	8.3%	5	4.9%
無回答・無効	0	0.0%	2	1.9%

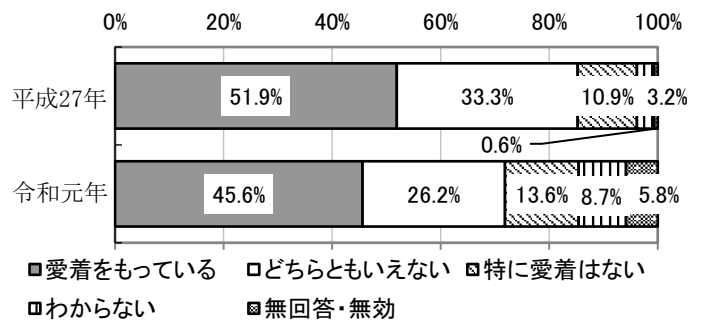


※2019年調査では、2015年調査の「医療や福祉、介護が安心して受けられるという」の選択肢を「病院に通いやすい」「福祉サービスが充実している」「介護サービスが充実している」の3つの選択肢に分けて調査を実施している。グラフ表記では、2015年調査の際の「医療や福祉、介護が安心して受けられるという」は、選択肢6の病院に通いやすいの位置に記している。

問14 あなたは、小美玉市に愛着を持っていますか。

小美玉市に愛着を持っている回答者は、約5割を占める。2015年調査と比べて減少している。

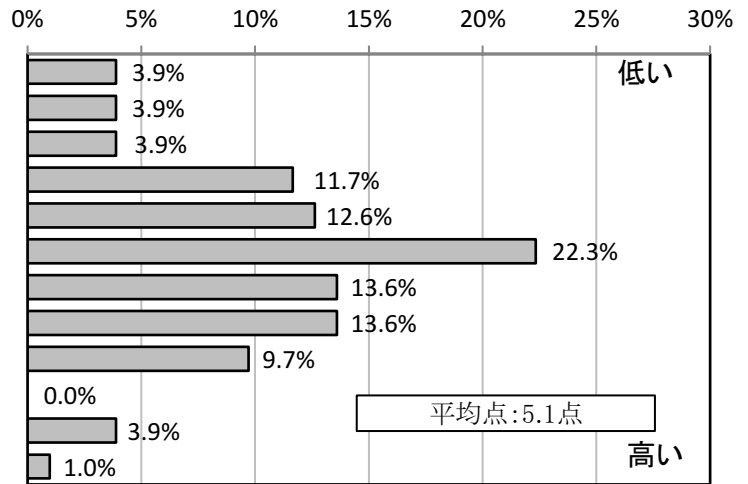
	2015年調査 (平成27年)		2019年調査 (令和元年)	
	票数	%	票数	%
1 愛着をもっている	81	51.9%	47	45.6%
2 どちらともいえない	52	33.3%	27	26.2%
3 特に愛着はない	17	10.9%	14	13.6%
4 わからない	5	3.2%	9	8.7%
無回答・無効	1	0.6%	6	5.8%
合計	156	100%	103	100%



問15 小美玉市を知人に推奨する(おすすめる)気持ちはどのぐらいありますか。

11段階で「5」が最も多くを占める。平均点は、5.1点となっている。

		票数	%
0	低い	4	3.9%
1		4	3.9%
2		4	3.9%
3		12	11.7%
4		13	12.6%
5		23	22.3%
6		14	13.6%
7		14	13.6%
8		10	9.7%
9		0	0.0%
10	高い	4	3.9%
	無回答・無効	1	1.0%
	合計	103	100%



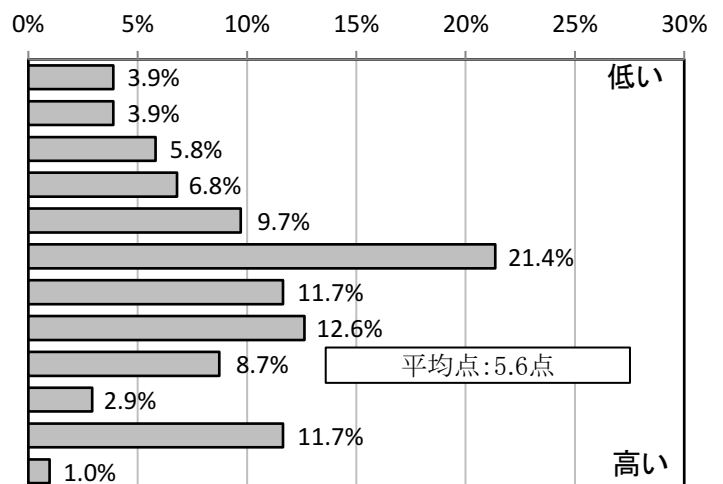
地域推奨意欲指数 -44.7

推奨者の比率(%) - 批判者の比率(%) = 地域推奨意欲指数

問16 小美玉市をよりよくしようとする活動に参加したい気持ち、あるいは応援する気持ちはどのぐらいありますか。

11段階で「5」が最も多くを占める。平均点は5.6点となっている。

		票数	%
0	低い	4	3.9%
1		4	3.9%
2		6	5.8%
3		7	6.8%
4		10	9.7%
5		22	21.4%
6		12	11.7%
7		13	12.6%
8		9	8.7%
9		3	2.9%
10	高い	12	11.7%
	無回答・無効	1	1.0%
	合計	103	100%



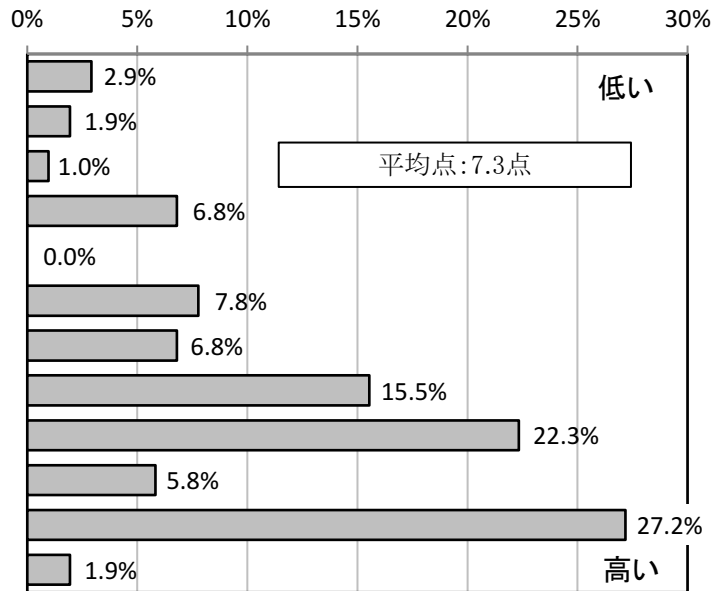
地域参加意欲指数 -28.2

積極者の比率(%) - 否定者の比率(%) = 地域参加意欲指数

問17 小美玉市をよりよくしようと活動している人に感謝する気持ちはどのぐらいありますか。

11段階で「10」が最も多く占める。平均点は7.3点となっている。

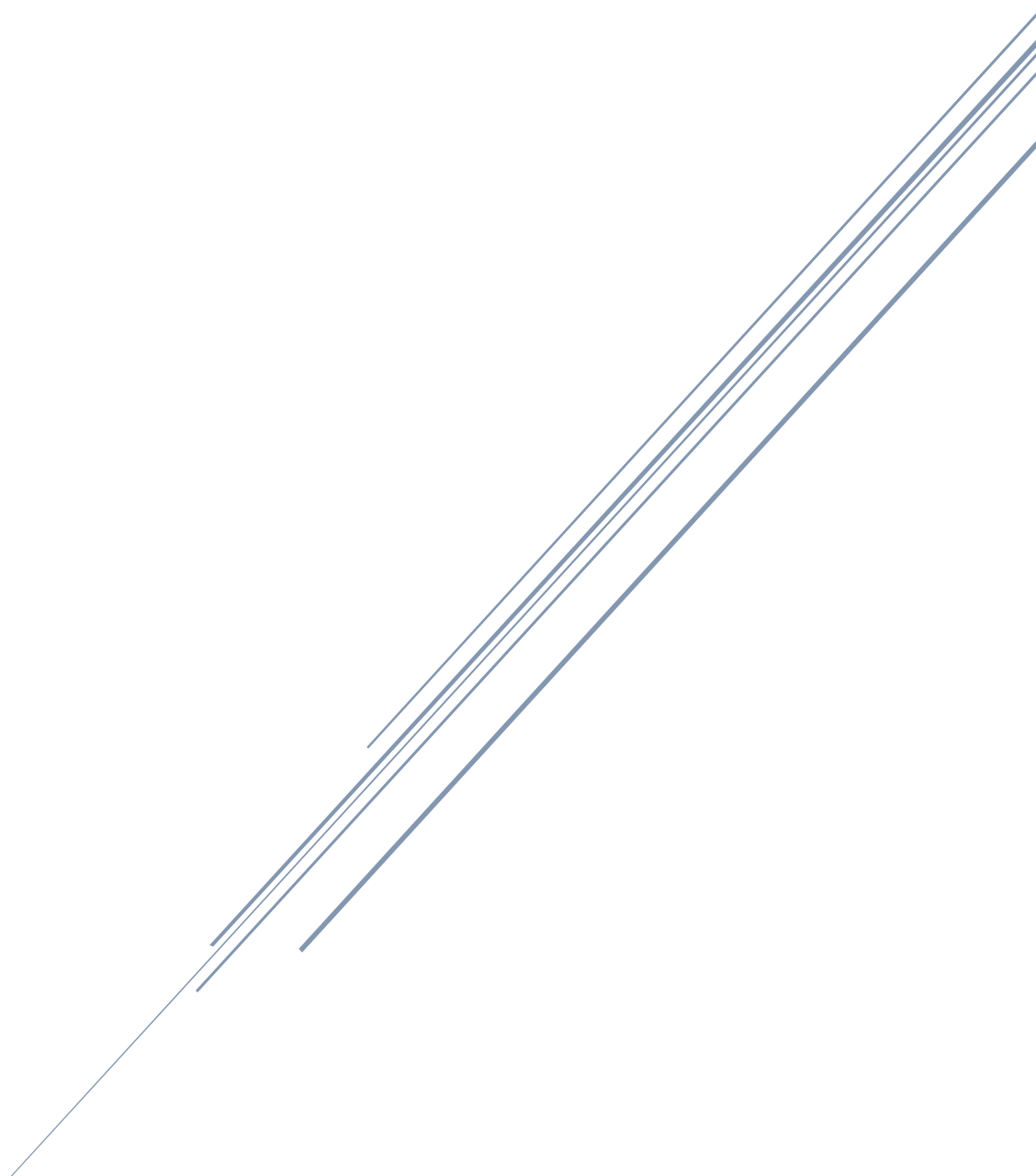
		票数	%
0	低い	3	2.9%
1		2	1.9%
2		1	1.0%
3		7	6.8%
4		0	0.0%
5		8	7.8%
6		7	6.8%
7		16	15.5%
8		23	22.3%
9		6	5.8%
10	高い	28	27.2%
	無回答・無効	2	1.9%
	合計	103	100%



地域活動感謝意欲指数 35.0

積極者の比率(%) - 否定者の比率(%) = 地域活動感謝意欲数

転出者アンケート調査結果



▶ 転出者アンケート調査項目

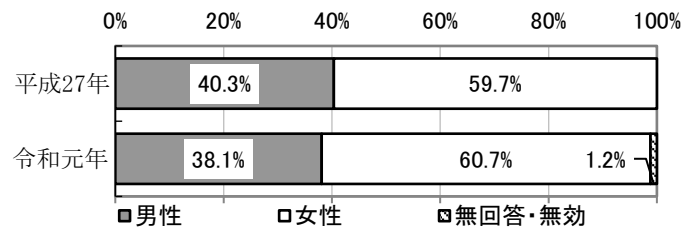
1	あなた自身のことについて
問1	あなたの性別をお答えください。
問2	あなたの年齢(令和元年5月1日時点の年齢)をお答えください。
問3	以前の居住地(学区)はどちらですか。
問4	どちらへ転出されましたか。
問5	小美玉市から転出された主な理由は何ですか。(○は1つ)
問6	転出するにあたり、市内でも住まいを検討されましたか。(○は1つ)
問7	問6で3と回答した方に伺います。どのような条件の転居先を探しましたか。
問8	小美玉市にお住まいの時(転出する時)と現在のお住まいの状況を教えてください。
2	小美玉市での住み心地について
問9	小美玉市は住みやすかったですか。(○は1つ)
問10	小美玉市が「住みやすかった」あるいは「住みにくかった」のは、どのような点ですか。
3	小美玉市での定住意識について
問11	いつか機会があれば、小美玉市に戻りたいと思いますか。(○は1つ)
問12	どのようなきっかけがあれば小美玉市に戻ることが考えられますか。
問13	小美玉市に戻りたい方は、その理由を以下から選んでください。戻りたくない方は何が改善されればよいか、以下から選んでください。(○は1つ)
問14	小美玉市を知人に推奨する(おすすめする)気持ちはどのぐらいありますか。
問15	小美玉市をよりよくしようとする活動に参加したい気持ち、あるいは応援する気持ちはどのぐらいありますか。
問16	小美玉市をよりよくしようと活動している人に感謝する気持ちはどのぐらいありますか。
問17	小美玉市をさらに住みよいまちにしていくためのご意見をお聞かせください。

1. あなた自身のことについて

問1 あなたの性別をお答えください。

女性の割合が高く6割を超える。

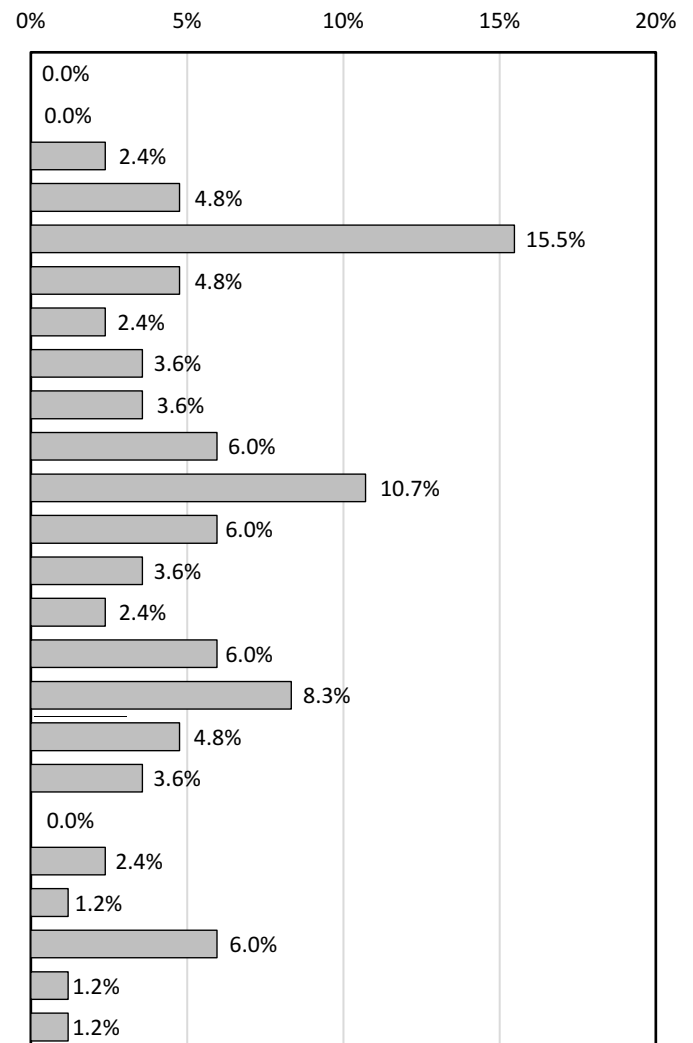
		2019年調査 (令和元年度)	
		票数	%
1	男性	32	38.1%
2	女性	51	60.7%
	無回答・無効	1	1.2%
	合計	84	100%



問2 あなたの年齢(令和元年5月1日時点の年齢)をお答えください。

22歳が最も多く、28歳と33歳がそれに次いでいる。

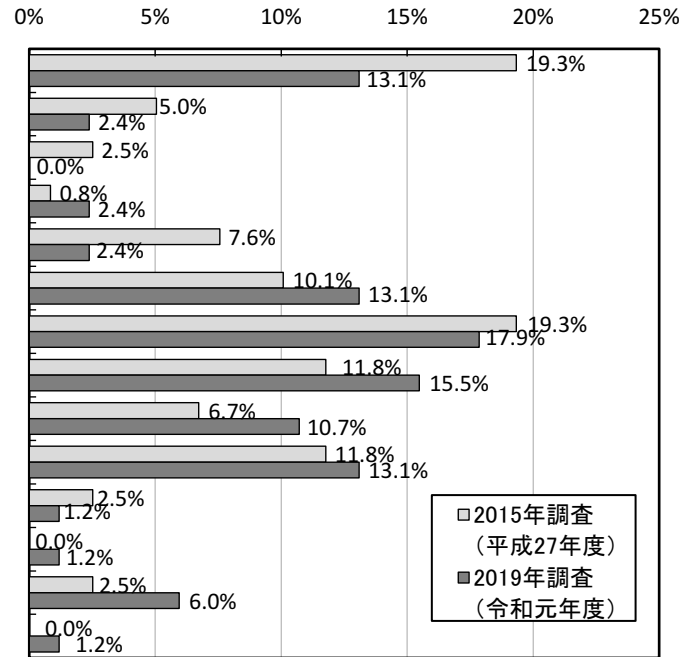
		2019年調査 (令和元年度)	
		票数	%
	18歳	0	0.0%
	19歳	0	0.0%
	20歳	2	2.4%
	21歳	4	4.8%
	22歳	13	15.5%
	23歳	4	4.8%
	24歳	2	2.4%
	25歳	3	3.6%
	26歳	3	3.6%
	27歳	5	6.0%
	28歳	9	10.7%
	29歳	5	6.0%
	30歳	3	3.6%
	31歳	2	2.4%
	32歳	5	6.0%
	33歳	7	8.3%
	34歳	4	4.8%
	35歳	3	3.6%
	36歳	0	0.0%
	37歳	2	2.4%
	38歳	1	1.2%
	39歳	5	6.0%
	40歳	1	1.2%
	無回答・無効	1	1.2%
	合計	84	100%



問3 以前の居住地(学区)はどちらですか。

美野里地区の回答者が5割を超えている。

		2015年調査 (平成27年度)		2019年調査 (令和元年度)	
		票数	%	票数	%
1	小川	23	19.3%	11	13.1%
2	野田	6	5.0%	2	2.4%
3	上吉影	3	2.5%	0	0.0%
4	下吉影	1	0.8%	2	2.4%
5	橘	9	7.6%	2	2.4%
6	竹原	12	10.1%	11	13.1%
7	羽鳥	23	19.3%	15	17.9%
8	堅倉	14	11.8%	13	15.5%
9	納場	8	6.7%	9	10.7%
10	玉里	14	11.8%	11	13.1%
11	玉里北	3	2.5%	1	1.2%
12	玉里東	0	0.0%	1	1.2%
13	わからない	3	2.5%	5	6.0%
	無回答・無効	0	0.0%	1	1.2%
	合計	119	100%	84	100%



問4 どちらへ転出されましたか。

茨城県内の市町村への転出が最も多い。中でも、水戸市が最も多く、石岡市がそれに次いでいる。2015年調査と比べると茨城県及び東京都への転出割合が増加している。

都道府県別転出数	2015年調査 (平成27年度)		2019年調査 (令和元年度)	
	票数	%	票数	%
茨城県	71	59.7%	41	48.8%
東京都	12	10.1%	12	14.3%
千葉県	12	10.1%	6	7.1%
埼玉県	5	4.2%	4	4.8%
栃木県	0	0.0%	3	3.6%
群馬県	2	1.7%	2	2.4%
岐阜県	0	0.0%	2	2.4%
福岡県	2	1.7%	2	2.4%
宮崎県	1	0.8%	2	2.4%

注) 2件以上の都道府県を表記

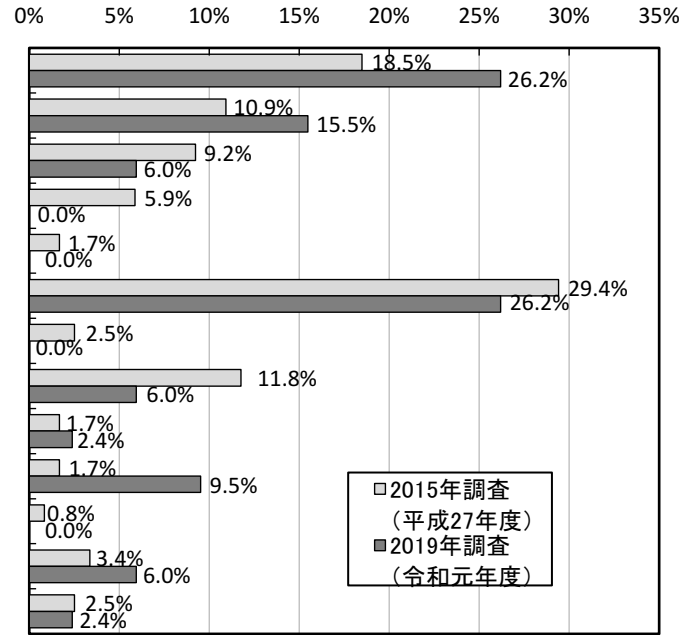
県内市町村転出数	2015年調査 (平成27年度)		2019年調査 (令和元年度)	
	票数	%	票数	%
水戸市	10	14.1%	15	36.6%
石岡市	11	15.5%	12	29.3%
土浦市	8	11.3%	5	12.2%
つくば市	8	11.3%	5	12.2%
鉾田市	4	5.6%	2	4.9%
笠間市	6	8.5%	2	4.9%
大野城市			2	4.9%
阿見町			2	4.9%
羽島市			2	4.9%
世田谷区			2	4.9%
宮崎市			2	4.9%

注) 2件以上の市区町村を表記

問5 小美玉市から転出された主な理由は何ですか。(〇は1つ)

就職と結婚が最も多くを占めている。2015年調査と比べると就職、転勤、生活の利便性など理由とする転出が増加し、結婚、住宅の新築・購入・借り換えなどを理由とする転出が減少している。

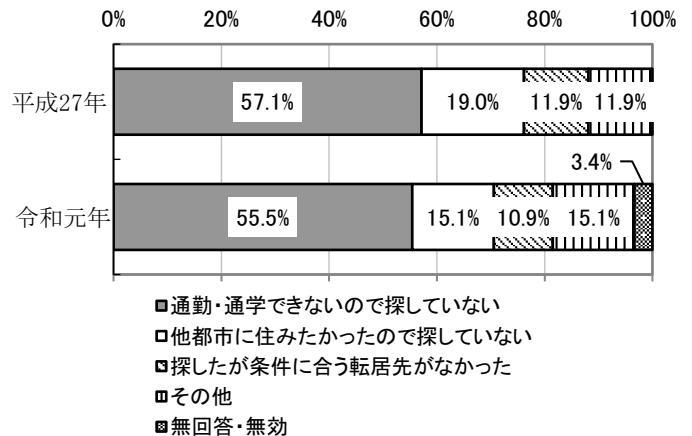
	2015年調査 (平成27年度)		2019年調査 (令和元年度)	
	票数	%	票数	%
1 就職	22	18.5%	22	26.2%
2 転勤	13	10.9%	13	15.5%
3 転職・離職・退職	11	9.2%	5	6.0%
4 進学・入学・通学	7	5.9%	0	0.0%
5 子どもの進学・入学・通学	2	1.7%	0	0.0%
6 結婚	35	29.4%	22	26.2%
7 離婚・親の介護など	3	2.5%	0	0.0%
8 住宅の新築・購入・借り換え	14	11.8%	5	6.0%
9 交通の利便性	2	1.7%	2	2.4%
10 生活の利便性	2	1.7%	8	9.5%
11 転出先に魅力を感じたから	1	0.8%	0	0.0%
12 その他	4	3.4%	5	6.0%
無回答・無効	3	2.5%	2	2.4%
合計	119	100%	84	100%



問6 転出するにあたり、市内でも住まいを検討されましたか。(〇は1つ)

通勤・通学ができないので探していないが半数以上を占めた。2015年調査と比べ他都市に住みたかったので探していない割合が増加している。

	2015年調査 (平成27年度)		2019年調査 (令和元年度)	
	票数	%	票数	%
1 通勤・通学できないので探していない	66	55.5%	48	57.1%
2 他都市に住みたかったので探していない	18	15.1%	16	19.0%
3 探したが条件に合う転居先がなかった	13	10.9%	10	11.9%
4 その他	18	15.1%	10	11.9%
無回答・無効	4	3.4%	0	0.0%
合計	119	100.0%	84	100%



問7 問6で3と回答した方に伺います。どのような条件の転居先を探しましたか。

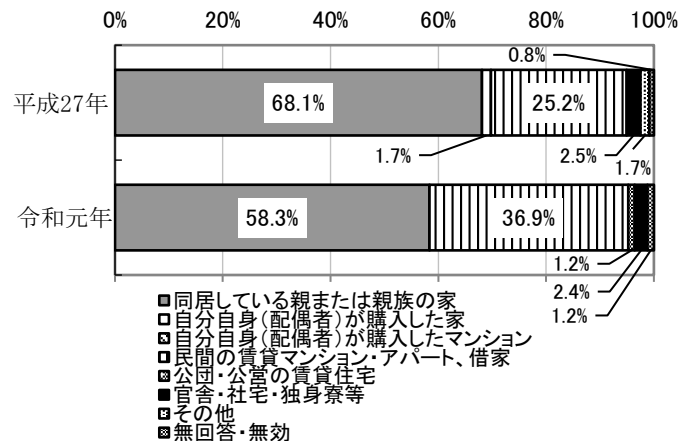
住宅価格、家賃の妥当性に関する意見					
女性	21歳	美野里	茨城県	石岡市	新築で広い、予算が合ったいい物件がなかった。
交通の便の良さに関する意見					
女性	27歳	美野里	茨城県	石岡市	駅に近い物件。羽鳥駅には特急がとまらなかったので通勤の利便性を考えて石岡にしました。
女性	30歳	美野里	栃木県	宇都宮市	新幹線がとまる駅が近いことが条件。
職場、学校の通いやすさに関する意見					
女性	20歳	小川	東京都	清瀬市	家から近い。お給料
女性	31歳	美野里	茨城県	鉾田市	立地(夫が通勤しやすい)がよく2LDKの物件を探したがなかった。
無回答	33歳	美野里	茨城県	石岡市	えきから15~20分以上はなれてる所
男性	25歳	玉里	茨城県	石岡市	勤務場所に近い。コンビニが近い。高速バス乗り場が近い
買い物など日常生活の便利さに関する意見					
男性	25歳	玉里	茨城県	石岡市	勤務場所に近い。コンビニが近い。高速バス乗り場が近い
女性	31歳	無回答	茨城県	石岡市	駅に近い、電話に近い、お店に近い
居住環境の良さに関する意見					
男性	27歳	美野里	茨城県	石岡市	新築、中古であまり築年数がたっていないもの
その他の意見					
女性	20歳	小川	東京都	清瀬市	家から近い。お給料

問8 小美玉市にお住まいの時(転出する時)と現在のお住まいの状況を教えてください。

①小美玉市にお住まいの時

親または親族の家に同居している割合が最も多く、民間の賃貸マンション・アパート、借家に住んでいる割合がそれに次いでいる。2015年調査と比べると同居している親または親族の家に同居している割合が減少し、民間の賃貸マンション・アパート、借家が増加している。

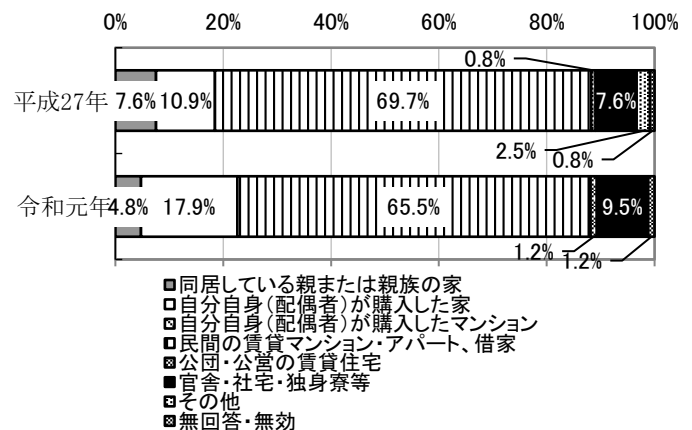
	2015年調査 (平成27年度)		2019年調査 (令和元年度)	
	票数	%	票数	%
1 同居している親または親族の家	81	68.1%	49	58.3%
2 自分自身(配偶者)が購入した家	2	1.7%	0	0.0%
3 自分自身(配偶者)が購入したマンション	0	0.0%	0	0.0%
4 民間の賃貸マンション・アパート、借家	30	25.2%	31	36.9%
5 公団・公営の賃貸住宅	0	0.0%	1	1.2%
6 官舎・社宅・独身寮等	3	2.5%	2	2.4%
7 その他	2	1.7%	0	0.0%
無回答・無効	1	0.8%	1	1.2%
合計	119	100%	84	100%



②現在のお住まい

民間の賃貸マンション・アパート、借家に住んでいるが6割を超え、次いで自分自身(配偶者)が購入した家が多い。2015年調査と比べると、民間の賃貸マンション・アパート、借家は減少し、自分自身(配偶者)が購入した家は増加している。

	2015年調査 (平成27年度)		2019年調査 (令和元年度)	
	票数	%	票数	%
1 同居している親または親族の家	9	7.6%	4	4.8%
2 自分自身(配偶者)が購入した家	13	10.9%	15	17.9%
3 自分自身(配偶者)が購入したマンション	0	0.0%	0	0.0%
4 民間の賃貸マンション・アパート、借家	83	69.7%	55	65.5%
5 公団・公営の賃貸住宅	1	0.8%	1	1.2%
6 官舎・社宅・独身寮等	9	7.6%	8	9.5%
7 その他	3	2.5%	0	0.0%
無回答・無効	1	0.8%	1	1.2%
合計	119	100%	84	100%

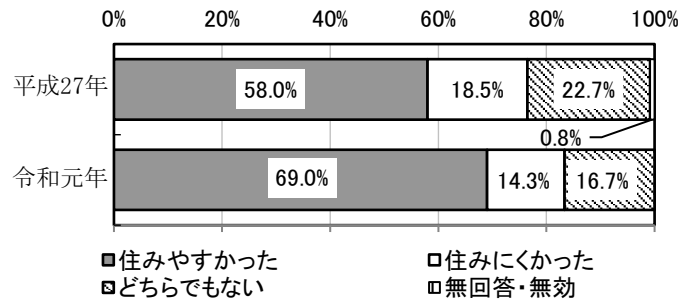


2. 小美玉市での住み心地について

問9 小美玉市は住みやすかったですか。(○は1つ)

住みやすかったが約7割を占める。2015年調査と比べて増加している。

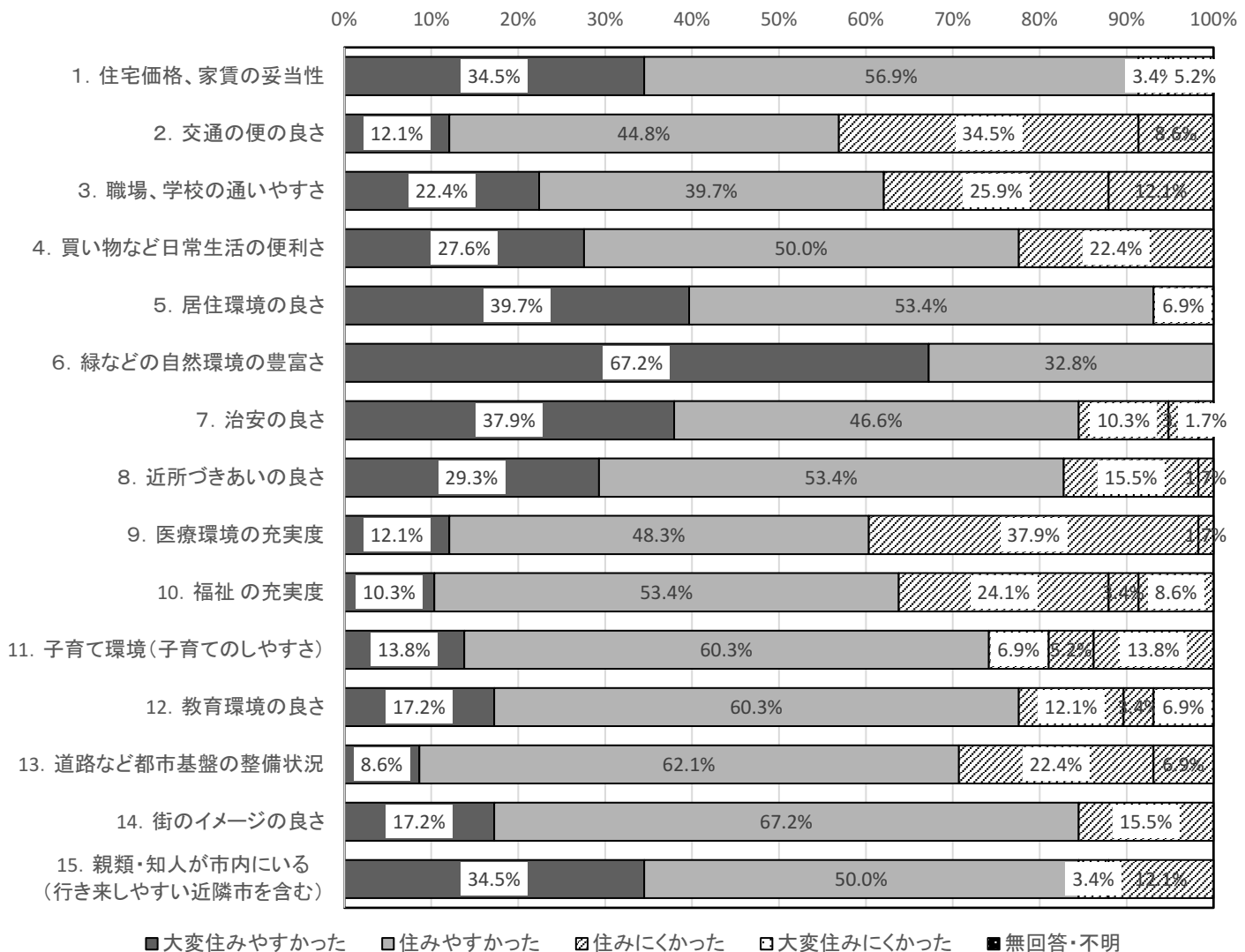
	2015年調査 (平成27年度)		2019年調査 (令和元年度)	
	票数	%	票数	%
1 住みやすかった	69	58.0%	58	69.0%
2 住みにくかった	22	18.5%	12	14.3%
3 どちらでもない	27	22.7%	14	16.7%
無回答・無効	1	0.8%	0	0.0%
合計	119	100%	84	100%



問10 小美玉市が「住みやすかった」あるいは「住みにくかった」のは、どのような点ですか。

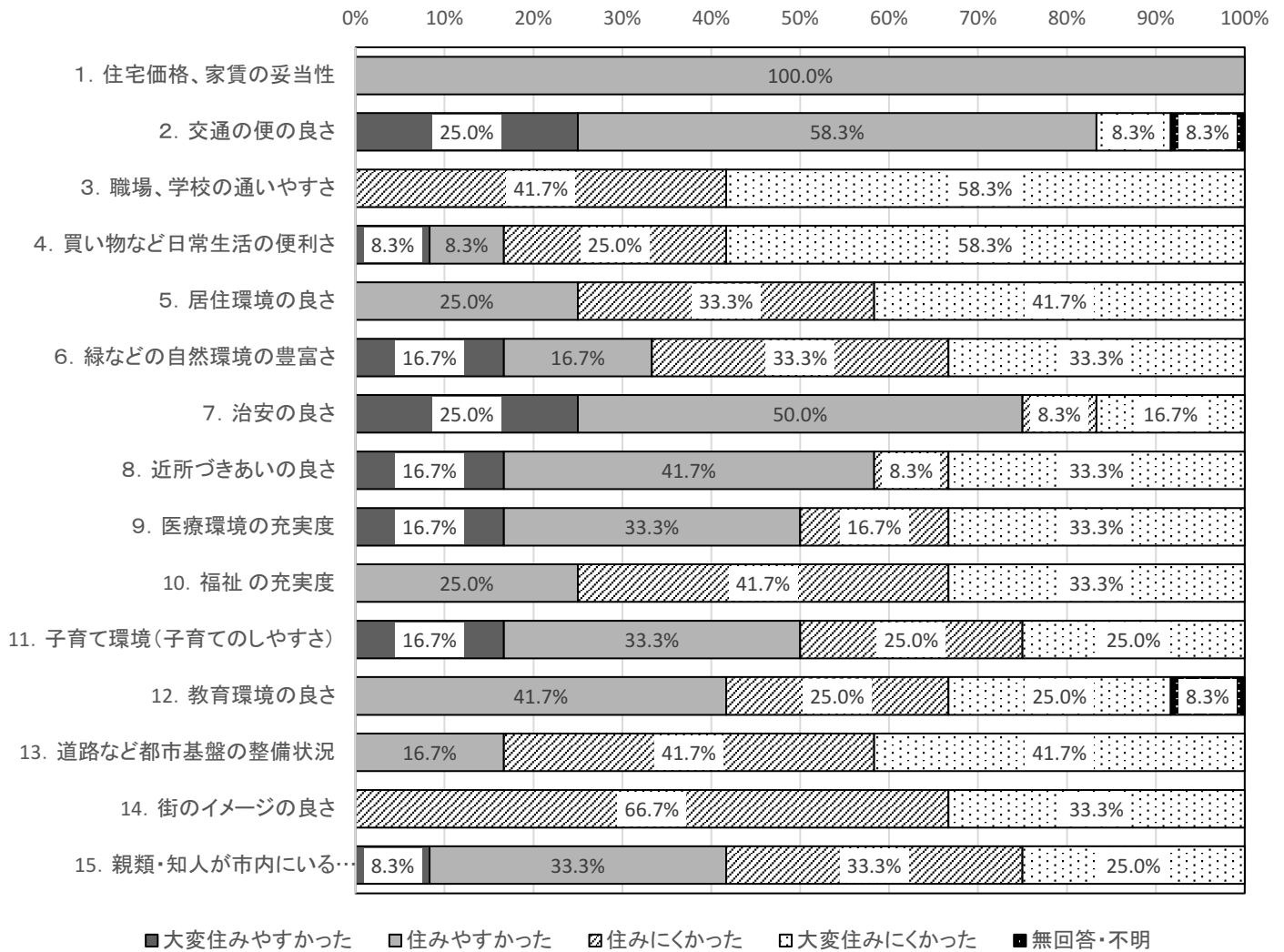
●小美玉市が住みやすかったと回答した方の住みやすかった点と住みにくかった点

小美玉市を住みやすかったと回答した方は緑などの自然環境の豊富さ、居住環境の良さ、住宅価格、家賃の妥当性が住みやすかったと捉えている。その一方で、交通の便及び職場・学校への通いやすさ、医療環境及び福祉の充実度、道路など都市基盤の整備状況が住みにくいと捉えている。



●小美玉市を住みにくかったと回答した方の住みやすかった点と住みにくかった点

小美玉市を住みにくかったと回答した方は、住宅価格、家賃の妥当性及び交通の利便性について住みやすかったと捉えている。その反面で、職場、学校の通いやすさ及び街のイメージ、買い物など日常生活の便利さは住みにくいと捉えている。

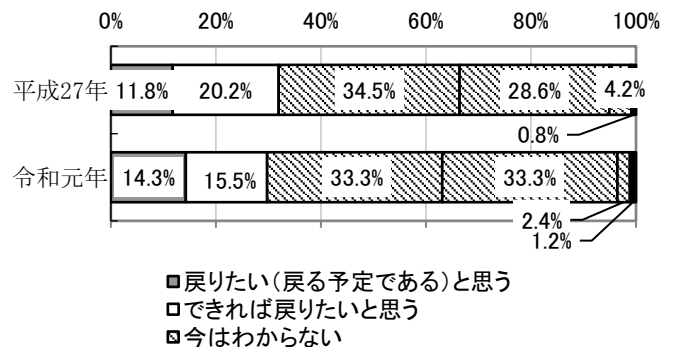


3. 小美玉市での定住意識について

問11 いくつか機会があれば、小美玉市に戻りたいと思いますか。(○は1つ)

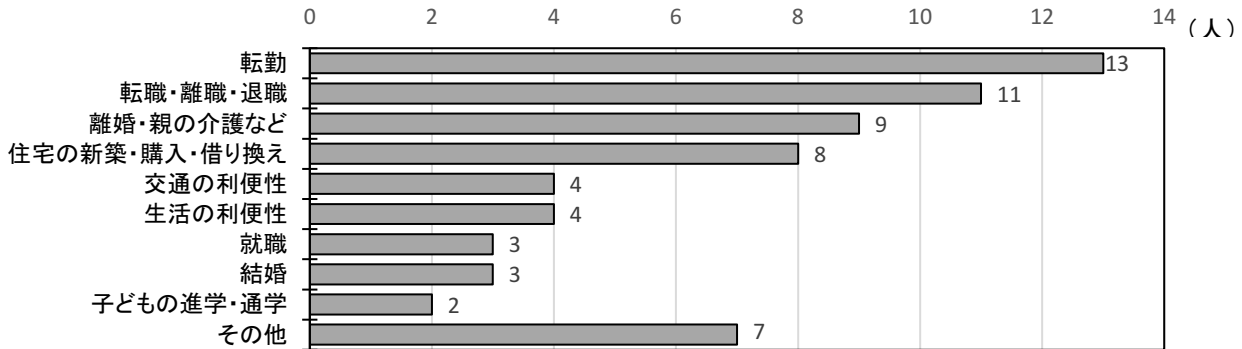
今はわからないと戻るつもりはないが最も多くを占めている。2015年調査と比べ、戻りたい、できれば戻りたいと回答した割合はやや減少し、戻るつもりはない(戻らない)が増加している。

	2015年調査 (平成27年度)		2019年調査 (令和元年度)	
	票数	%	票数	%
1 戻りたい(戻る予定である)と思う	14	11.8%	12	14.3%
2 できれば戻りたいと思う	24	20.2%	13	15.5%
3 今はわからない	41	34.5%	28	33.3%
4 戻るつもりはない(戻らない)	34	28.6%	28	33.3%
5 その他	5	4.2%	2	2.4%
無回答・無効	1	0.8%	1	1.2%
合計	119	100%	84	100%



問12 どのようなきっかけがあれば小美玉市に戻ることが考えられますか。

小美玉市に戻ること考えられるきっかけとしては、転勤に関するコメントが最も多く寄せられ、就職・離職・退職に関するコメントがそれに次いでいる。転勤に関しては、転勤先の候補や仕事は異動になればなど、現在の仕事は小美玉市周辺で務めることができるのであれば戻りたいという意見が寄せられている。



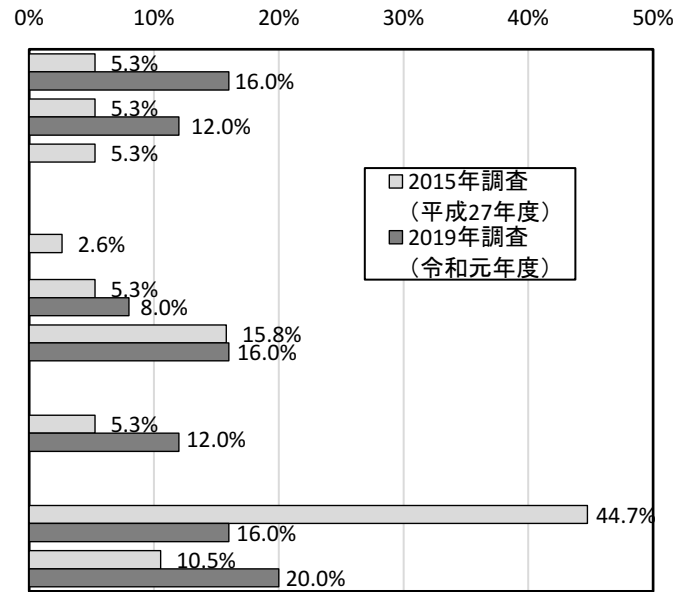
性別	年齢	以前の居住地	現在の居住地	コメント
転勤に関するコメント				
男性	39歳	小川	静岡県 浜松市	転勤があれば戻ります。住み始めた時は賃貸を探すことも大変でしたが今なら建売物件沢山あってそれも良いと思います(後々運用しても良い)
女性	26歳	小川	福岡県 大野城市	転勤の候補にあればまた小美玉に戻りたいです。小美玉好きになりました。
女性	28歳	美野里	茨城県 阿見町	夫の転勤
男性	32歳	美野里	埼玉県 さいたま市 緑区	転勤
女性	33歳	美野里	千葉県 袖ヶ浦市	また小美玉へ転勤があれば戻りたい。本当に住みやすく良い所でした。
女性	39歳	美野里	茨城県 土浦市	職場が近ければ
男性	28歳	美野里	茨城県 つくば市	仕事先が小美玉市の方になる事があるのならば戻りたいと思う
男性	24歳	美野里	茨城県 水戸市	小美玉市内に勤務地が移る
男性	24歳	玉里	茨城県 坂東市	小美玉市周辺に仕事移動になれば。
男性	28歳	玉里	茨城県 土浦市	転勤
女性	37歳	玉里	茨城県 潮来市	転勤
女性	40歳	玉里	群馬県 太田市	転勤。
男性	35歳	玉里	埼玉県 川越市	転勤
転職・離職・退職に関するコメント				
男性	22歳	小川	埼玉県 熊谷市	親族関係等、又は転職先が小美玉市の近くの場合のみ
女性	22歳	小川	東京都 太田市	転職
女性	27歳	美野里	茨城県 水戸市	アパート契約更新時の状況次第
女性	35歳	美野里	茨城県 石岡市	現在より高所得の仕事があれば。また家を建ててしまったので今住んでいる家が高く売れば。
男性	22歳	美野里	東京都 荒川区	定年後仕事を辞めた時など。
女性	22歳	美野里	東京都 新宿区	今の就職先をはなれて、茨城に帰りたと思っている。
女性	30歳	美野里	茨城県 水戸市	職場の変更
男性	28歳	美野里	茨城県 阿見町	転職
男性	22歳	美野里	東京都 江戸川区	会社を辞めた時
男性	39歳	美野里	茨城県 土浦市	仕事
女性	23歳	玉里	茨城県 日立市	良い就職先がある
離婚・親の介護などに関するコメント				
女性	20歳	小川	東京都 清瀬市	両親の健康状態が悪くなれば戻る。
男性	22歳	小川	埼玉県 熊谷市	親族関係等、又は転職先が小美玉市の近くの場合のみ
女性	29歳	小川	茨城県 水戸市	家族の介護
男性	25歳	小川	茨城県 つくば市	親との同居
女性	23歳	美野里	東京都 杉並区	介護等が必要になった時
女性	28歳	美野里	群馬県 前橋市	離婚したとき?
女性	22歳	美野里	栃木県 小山市	両親のことを考えたとき
女性	21歳	美野里	東京都 渋谷区	老後。または家族の介護が必要になった時。都内またはその他の地域にあきたら。
女性	30歳	美野里	栃木県 宇都宮市	離婚

住宅の新築・購入・借り換え					
女性	33歳	小川	茨城県	土浦市	家を買う時条件があれば
女性	28歳	小川	茨城県	石岡市	家を建てたいのでいい土地があれば戻ると思います。
男性	34歳	小川	茨城県	石岡市	自身で購入する家は実家のある小美玉市と決めてはいるから。
女性	35歳	美野里	茨城県	石岡市	現在より高所得の仕事があれば。また家を建ててしまったので今住んでいる家が高く売れば。
女性	27歳	美野里	茨城県	石岡市	マイホームを検討する際
女性	31歳	美野里	茨城県	鉾田市	夫と夫の家族の理解が得られよい物件があれば
男性	28歳	美野里	茨城県	水戸市	実家近辺に家を建てる
男性	27歳	わからない	茨城県	石岡市	家を売るような事があれば
交通の利便性に関するコメント					
女性	33歳	美野里	茨城県	つくば市	羽鳥駅にときわ特急が止まれば
男性	22歳	美野里	東京都	千代田区	よく水戸に遊びに行っていたが実家が駅から遠くバスも遅い時間まで動いていない。まずは大きな施設(みんなが利用したいと思う)をつくりその後交通施設の改善を目指した方が良いと思う。
女性	30歳	美野里	茨城県	水戸市	夫の通勤が便利になれば
男性	34歳	わからない	茨城県	石岡市	つくばエクスプレスが茨城空港を越えて延伸し、常磐線との接続がよくなる事
生活の利便性に関するコメント					
女性	29歳	美野里	茨城県	水戸市	今住んでいる場所並みに便利に生活できる場所になれば。
女性	26歳	美野里	茨城県	水戸市	食料品以外の買い物をする場所が増えるといい。買い物に行くには市外まででないといけないため。良い職場があるなら戻りたい。
男性	32歳	美野里	茨城県	水戸市	下水道をきちんと整備する。島田穰一を市長からはずす!!
女性	28歳	未記入	茨城県	水戸市	臭いニオイがなくなれば。息もできないくらいくさすぎます
就職に関するコメント					
女性	22歳	小川	茨城県	土浦市	就職先が小美玉市内になれば
女性	35歳	美野里	千葉県	柏市	市内又は近隣での就職
女性	33歳	玉里	茨城県	水戸市	仕事の関係で戻れない
子どもの進学・通学に関するコメント					
女性	23歳	美野里	東京都	世田谷区	小美玉市の人と結婚など。
男性	25歳	美野里	茨城県	石岡市	結婚したら
女性	21歳	玉里	茨城県	鉾田市	結婚(アパートが多い為)
子どもの進学・通学に関するコメント					
男性	25歳	美野里	茨城県	水戸市	子どもが小学校入学などをきに実家の小美玉市に戻る事。
女性	28歳	美野里	茨城県	石岡市	子どもができれば
その他のコメント					
男性	99歳	美野里	千葉県	千葉市	仕事と教育が両立出来る場合。
男性	34歳	美野里	茨城県	水戸市	地域環境、高齢化に伴う介護福祉施設の増加など(両親の将来と自分の職場のために)
女性	33歳	美野里	茨城県	石岡市	夫の親と別居することになったら
女性	39歳	美野里	茨城県	笠間市	元々小美玉だったら良かったなと思ったけど実家が笠間市(岩間)なので戻ることはないと思う(同じ敷地内に住んでいる)
女性	22歳	玉里	福島県	会津若松市	芸術など文化的活動の活発化や支援の充実
女性	21歳	玉里	茨城県	石岡市	戻ればよかったです条件に合った家を小美玉市では見つけれず石岡市で購入してしまったため戻ることではできません。
男性	27歳	わからない	岐阜県	羽島市	のっぴきならない理由がなければ戻ることはないと考える。

問13 小美玉市に戻りたい方は、その理由を以下から選んでください。戻りたくない方は、何が改善されればよいか、以下から選んでください。(〇は1つ)

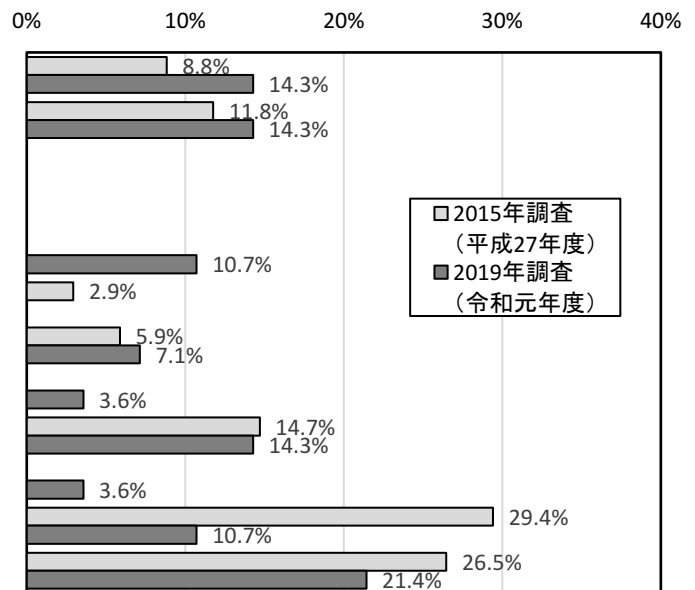
小美玉市に戻りたい理由として、働く場所があることと安心して子育てできる環境があることが最も多くを占めている。2015年調査と比べて、働く場所があること、住みたいと思える住宅地があること、公共交通が便利になることが特に増加している。

戻りたい(戻る予定である)と思う できれば戻りたいと思う	2015年調査 (平成27年度)		2019年調査 (令和元年度)	
	票数	%	票数	%
1 働く場所がある	2	5.3%	4	16.0%
2 公共交通が便利になる	2	5.3%	3	12.0%
3 自治体活動が充実している	2	5.3%	0	0.0%
4 市民の健康づくりの支援が充実している	0	0.0%	0	0.0%
5 病院や福祉、介護施設が充実している	1	2.6%	0	0.0%
6 仕事と子育ての両立支援が充実している	2	5.3%	2	8.0%
7 安心して子育てができる環境がある	6	15.8%	4	16.0%
8 質の高い教育環境のなかで子育てができる	0	0.0%	0	0.0%
9 住みたいと思える住宅地がある	2	5.3%	3	12.0%
10 Iターン・Uターン向けの支援制度が充実している	0	0.0%	0	0.0%
11 その他	17	44.7%	4	16.0%
無回答・無効	4	10.5%	5	20.0%
合計	38	100%	25	100%



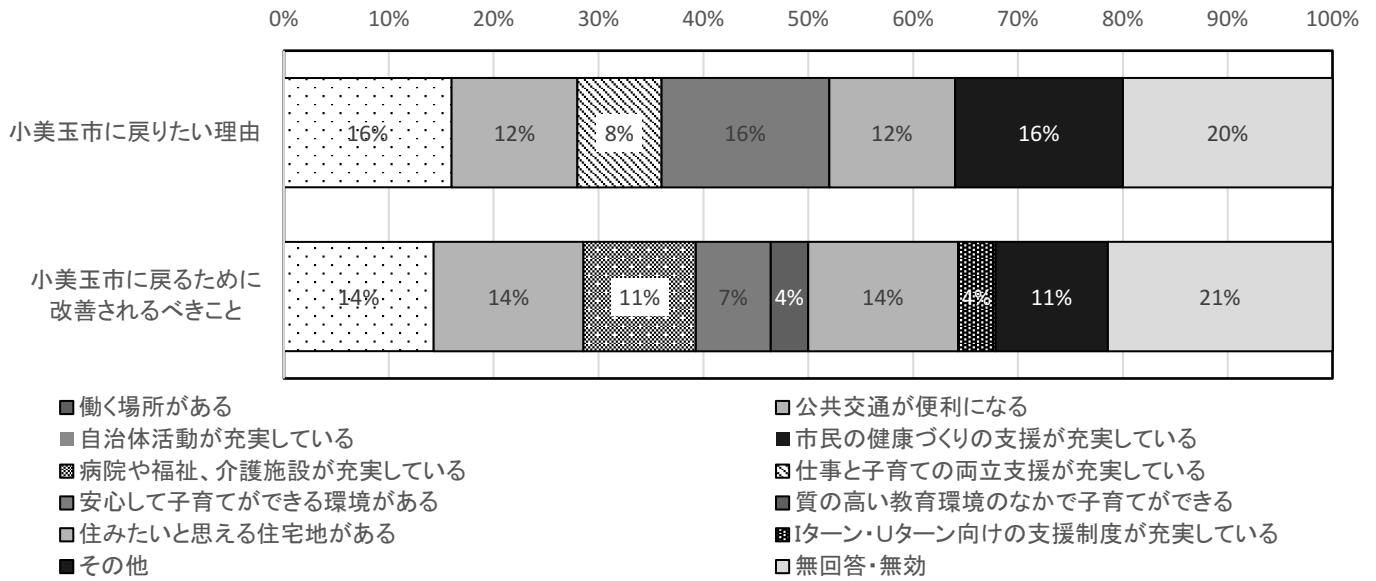
小美玉市に戻るために改善されるべきこととしては、働く場所があること、公共交通が便利になること、住みたいと思える住宅地があることが多くを占めている。2015年調査と比べると病院や福祉、介護施設が充実していることが特に増加している。

戻るつもりはない(戻らない)	2015年調査 (平成27年度)		2019年調査 (令和元年度)	
	票数	%	票数	%
1 働く場所がある	3	8.8%	4	14.3%
2 公共交通が便利になる	4	11.8%	4	14.3%
3 自治体活動が充実している	0	0.0%	0	0.0%
4 市民の健康づくりの支援が充実している	0	0.0%	0	0.0%
5 病院や福祉、介護施設が充実している	0	0.0%	3	10.7%
6 仕事と子育ての両立支援が充実している	1	2.9%	0	0.0%
7 安心して子育てができる環境がある	2	5.9%	2	7.1%
8 質の高い教育環境のなかで子育てができる	0	0.0%	1	3.6%
9 住みたいと思える住宅地がある	5	14.7%	4	14.3%
10 Iターン・Uターン向けの支援制度が充実している	0	0.0%	1	3.6%
11 その他	10	29.4%	3	10.7%
無回答・無効	9	26.5%	6	21.4%
合計	34	100%	28	100%



●小美玉市に戻りたい理由と小美玉市に戻るために改善されるべきことの比較

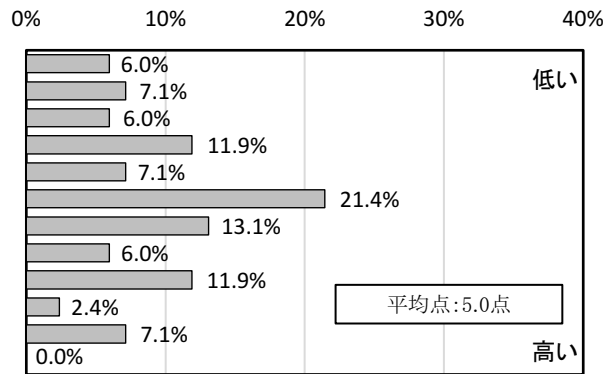
小美玉市に戻りたい理由として仕事と子育ての両立支援が充実していることが挙げられる。その一方で、改善されるべきことは病院や福祉、介護施設の充実及び質の高い教育環境の中で子育てができること、Iターン・Uターン向けの支援制度が充実することが挙げられている。



問14 小美玉市を知人に推奨する(おすすめる)気持ちはどのぐらいありますか。

11段階で「5」段階目が最も多くを占めている。平均は5.0となっている。

	票数	%
0 低い	5	6.0%
1	6	7.1%
2	5	6.0%
3	10	11.9%
4	6	7.1%
5	18	21.4%
6	11	13.1%
7	5	6.0%
8	10	11.9%
9	2	2.4%
10 高い	6	7.1%
無回答・無効	0	0.0%
合計	84	100%



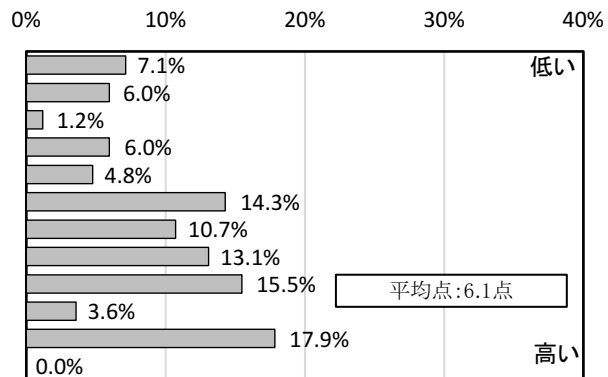
地域推奨意欲指数 -38.1

推奨者の比率(%) - 批判者の比率(%) = 地域推奨意欲指数

問15 小美玉市をよりよくしようとする活動に参加したい気持ち、あるいは応援する気持ちはどのぐらいありますか。

11段階で「10」が最も高くを占めている。平均点は7.6となっている。

	票数	%
0 低い	6	7.1%
1	5	6.0%
2	1	1.2%
3	5	6.0%
4	4	4.8%
5	12	14.3%
6	9	10.7%
7	11	13.1%
8	13	15.5%
9	3	3.6%
10 高い	15	17.9%
無回答・無効	0	0.0%
合計	84	100%



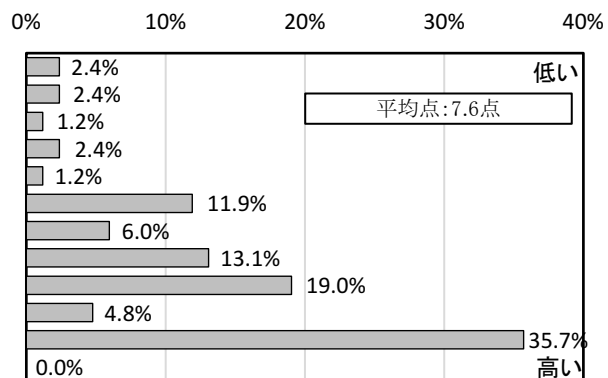
地域参加意欲指数 -2.4

積極者の比率(%) - 否定者の比率(%) = 地域参加意欲指数

問16 小美玉市をよりよくしようと活動している人に感謝する気持ちはどのぐらいありますか。

11段階で「10」が最も多くを占めている。平均点は7.6となっている。

	票数	%
0 低い	2	2.4%
1	2	2.4%
2	1	1.2%
3	2	2.4%
4	1	1.2%
5	10	11.9%
6	5	6.0%
7	11	13.1%
8	16	19.0%
9	4	4.8%
10 高い	30	35.7%
無回答・無効	0	0.0%
合計	84	100%



地域活動感謝意欲指数 38.1

積極者の比率(%) - 否定者の比率(%) = 地域活動感謝意欲指数